

Annual Report of

YAMANASHI INDUSTRIAL TECHNOLOGY CENTER



山梨県産業技術センター 年報

令和7年度

2026

山梨県産業技術センター



は じ め に

我が国経済は、社会経済活動の正常化が進む一方で、エネルギー・原材料価格の高騰や急速な円安の進行、国際情勢の不安定化などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。こうした中、県内産業、とりわけ中小企業においては、コスト上昇への対応や人手不足の深刻化に加え、デジタル化や脱炭素化への対応など、多くの課題に直面しており、技術力の強化と付加価値創出に向けた取組の重要性が一層高まっております。

このような状況を踏まえ、当センターでは、令和5年度より「第2期中期運営計画」に基づき、県内産業の持続的発展と競争力強化を支える中核的技術支援機関としての役割を果たすべく、技術支援、研究開発、人材育成などの各種施策を一体的に推進してまいりました。本計画では、技術支援機能の強化、技術移転・事業化支援の推進、オープンイノベーションによる高付加価値製品開発の推進、組織運営の最適化を基本方針として掲げ、県内中小企業が安定的に収益を上げ、持続的に成長していくための取組を進めております。

また、技術支援体制の高度化を図るため、設備の整備にも積極的に取り組んでまいりました。令和7年度には、富士技術支援センターにおいて「イノベーション支援棟」を開設し、先進的な研究開発や試作、企業間連携を促進する拠点としての機能強化を図りました。さらに、各種補助制度等を活用し、先端加工装置や試験機器の導入を進め、企業の皆様が高度かつ実践的に技術課題へ取り組むことが可能な環境を整備しております。これらの設備は、研究開発にとどまらず、課題解決力の向上や新製品開発の迅速化にも大きく寄与するものと期待しております。

当センターの沿革を顧みますと、前身である山梨県工業試験場の開設から昨年で120年という大きな節目を迎えました。明治期に地域産業の近代化を支えるために設立されて以来、当センターは時代の要請に応じて組織や機能を進化させながら、常に産業界と歩みをともにしてまいりました。この長い歴史の中で培われてきた技術的知見と信頼関係は、現在の活動を支える重要な基盤であり、次代へと継承すべき貴重な財産であると考えております。

今後も当センターでは、急速に変化する社会・産業構造を的確に捉え、企業の皆様に寄り添った支援を一層強化してまいります。県内中小企業が抱える技術的課題の解決と、新たな成長分野への挑戦を後押しすることにより、県内産業の持続的発展に貢献していく所存です。

本年報は、令和7年度における当センターの業務成果を取りまとめたものです。本書を多くの方にご高覧いただくことで、当センターの取組へのご理解を深めていただくとともに、産業振興に携わる皆様との連携強化に資する一助となれば幸いです。

令和8年7月吉日

山梨県産業技術センター

所 長 雨宮 学

目 次

山梨県産業技術センターの概要.....	1
1. 沿革	1
2. 土地・建物	2
3. 組織と業務（令和 8 年 3 月 31 日現在）	3
4. 職員名簿（令和 8 年 3 月 31 日現在）	4
5. 職員配置（令和 8 年 3 月 31 日現在）	5
6. 令和 7 年度決算	6
7. 新設機器・設備	7
8. 山梨県産業技術センター 第 2 期中期運営計画.....	8
9. 令和 7 年度業務体系	10
10. 令和 7 年度業務実績一覧表	13
運営	14
1. 運営会議	14
(1) 会議の概要	14
(2) 構成員（委員）名簿	14
2. 試験・研究課題等の外部評価会議	15
(1) 評価に対する考え方	15
(2) 評価対象課題	16
(3) 評価結果	16
(4) 委員名簿	17
3. 業界との意見交換	18
技術支援業務.....	19
1. 技術相談、現地技術支援の担当別実績	19
2. 中小企業重点支援事業	19
(1) テーマ一覧	19
(2) 担当別実績	19
3. 客員研究員による支援	20
4. 依頼試験・設備使用等	21
(1) 実績一覧	21
(2) 依頼試験の内訳	21
(3) 依頼加工等の内訳	21
(4) 設備使用の内訳	21
(5) 試験成績証明書交付の内訳	21
(6) その他（酒母）	22

(7) 設備利用研修会	22
(8) 設備利用研修	22
5. 研究会への支援	23
研究開発業務	25
1. 産学官連携研究の促進	25
(1) 研究の形態	25
(2) 研究テーマ	25
2. 産業財産権の取得状況	31
(1) 産業財産権（県単独）	31
(2) 産業財産権（共同出願）	33
(3) 産業財産権（海外特許）	33
(4) 産業財産権出願中（県単独）	34
(5) 産業財産権出願中（共同出願）	34
(6) 産業財産権出願中（海外特許）	34
3. 課題対応受託研究	35
4. 業績発表	35
(1) 口頭発表（学会等）	35
(2) 口頭発表（その他）	36
(3) ポスター発表（学会等）	37
(4) 学会誌等掲載	38
(5) 専門誌等掲載	38
人材育成業務	39
1. 出前技術講座	39
(1) 講座一覧	39
(2) 担当別実績	41
2. ものづくり人材育成研修	41
(1) 講座一覧	41
(2) 担当別実績	42
3. 講習会・研修会	42
(1) 講座一覧	42
(2) 担当別実績	45
4. 技術者研修	45
(1) テーマ一覧	45
(2) 担当別実績	45
5. 郡内織物ライフプロダクト開発支援事業	46
県内テキスタイル DX 研修	46
6. その他	46

情報提供業務.....	47
1. 研究成果発表	47
2. 展示会への出展	47
3. 刊行物の発行	47
4. センターご利用ガイドの発行及びメールマガジンの配信.....	48
5. その他	48
技術交流.....	49
1. 研究機関連絡会議	49
2. 学会等の会議	51
3. 職員派遣	52
4. その他会議	56
報道関係.....	59
1. テレビ等	59
2. 新聞・情報誌等	59
職員の資質向上.....	61
1. 派遣研修	61
2. その他研修	63
学会・協会等からの表彰.....	64
加入学会・協会等.....	65
付録	66
1. 組織と業務（令和 8 年 4 月 1 日現在）	66
2. 職員名簿（令和 8 年 4 月 1 日現在）	67
3. 職員配置（令和 8 年 4 月 1 日現在）	68
4. 令和 8 年度予算	69

山梨県産業技術センターの概要

1. 沿革

明治38年12月	山梨県工業試験場開設
大正12年 4月	山梨県工業試験場上野原分場開設
昭和 4年12月	山梨県醸造研究所開設
昭和10年 4月	山梨県工業試験場吉田分場開設
昭和14年11月	山梨県工業試験場吉田分場を本場とし、旧本場は谷村試験工場に変更
昭和25年12月	山梨県繊維工業試験場開設（条例改正による山梨県工業試験場の名称変更）
昭和26年 8月	山梨県立研磨工業指導所開設
昭和28年 5月	山梨県繊維工業試験場大月分場開設
昭和30年 7月	山梨県立メリヤス工業指導所開設
昭和42年 9月	山梨県機械金属工業指導所開設
昭和43年 4月	山梨県食品工業指導所開設（山梨県醸造研究所の整備による名称変更）
昭和43年 4月	山梨県繊維工業試験場上野原、大月分場廃止
昭和43年 4月	山梨県木工指導所開設
昭和46年 4月	山梨県繊維工業試験場新庁舎開設
昭和49年10月	ワインセンターを山梨県食品工業指導所に併設
昭和61年 4月	山梨県工業技術センター開設（工業関係研究機関再編整備による5所統合）
昭和61年 4月	山梨県富士工業技術センター開設 （工業関係研究機関再編整備による山梨県繊維工業試験場の名称変更）
平成 4年 4月	山梨県工業技術センター新庁舎開設
平成12年 4月	山梨県高度技術開発センター新庁舎開設
平成29年 4月	山梨県産業技術センター開設（両センターの統合）
平成30年 4月	富士技術支援センター研究開発支援棟開設
令和 4年 6月	甲府技術支援センターイノベーション支援棟開設
令和 7年 5月	富士技術支援センターイノベーション支援棟開設

2. 土地・建物

[甲府技術支援センター]

所在地 山梨県甲府市大津町2094

敷地面積 16,893 m²

建物延面積 14,388 m²

研究管理棟（鉄骨鉄筋コンクリート造り6階建） 7,008 m²

デザイン棟（鉄筋コンクリート造り2階建） 2,158 m²

実験棟（鉄骨造り2階建） 3,189 m²

イノベーション支援棟（鉄骨造り2階建） 1,750 m²

附属施設 283 m²

[ワイン技術部]

所在地 山梨県甲州市勝沼町勝沼2517

敷地面積 4,280 m²

建物延面積 914 m²

ワイン試験棟（鉄筋コンクリート平屋・地下1階） 868 m²

附属施設 46 m²

[富士技術支援センター]

所在地 山梨県富士吉田市下吉田6-16-2

敷地面積 10,117 m²

建物延面積 2,825 m²

管理棟（鉄筋コンクリート造り2階建） 1,177 m²

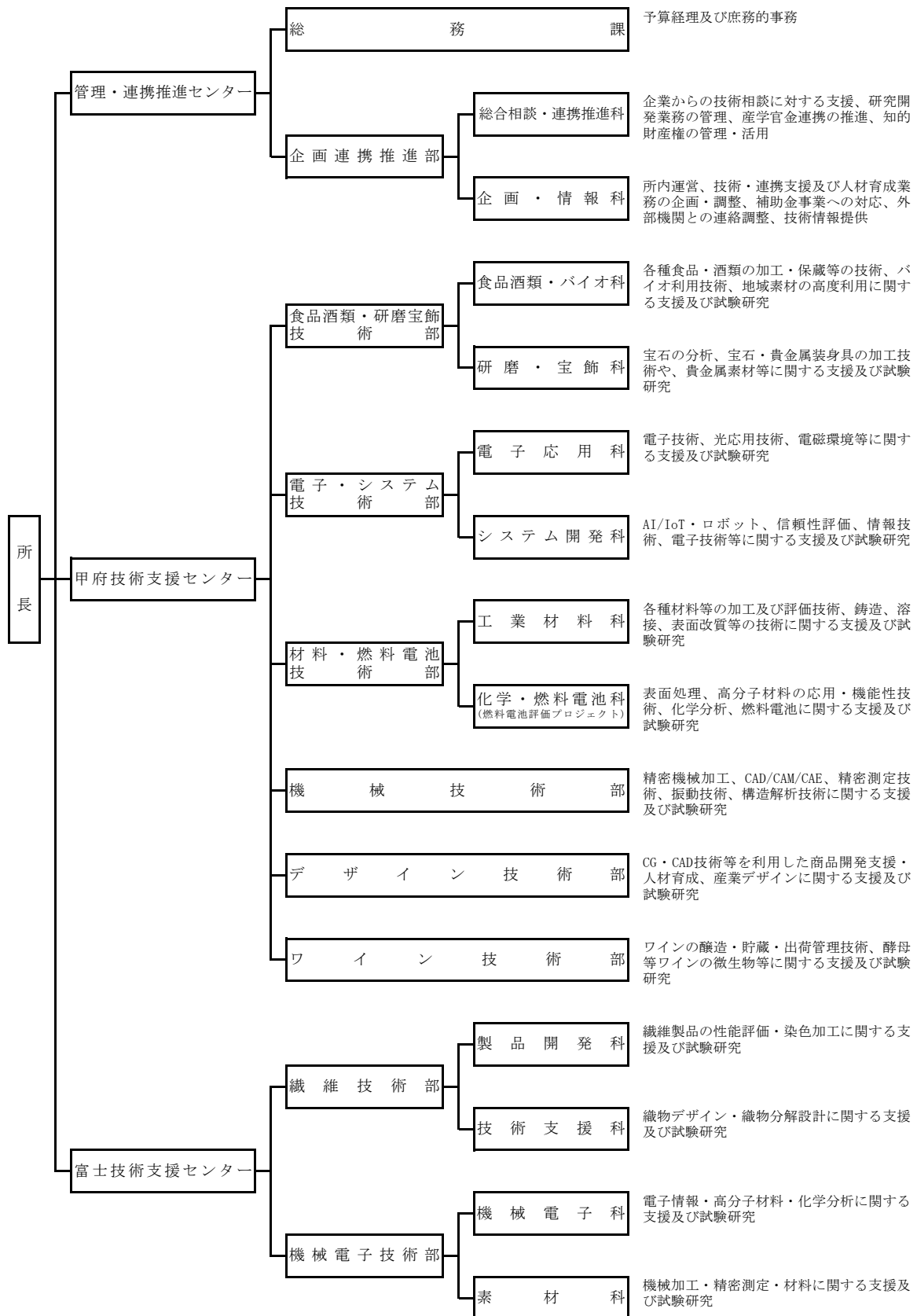
研究開発支援棟（鉄骨造り平屋） 599 m²

イノベーション支援棟（鉄骨造り平屋） 867 m²

附属施設 182 m²

3. 組織と業務

(令和8年3月31日現在)



4. 職員名簿

(令和8年3月31日現在)

所 長 雨 宮 俊 彦	電子・システム技術部	デザイン技術部
管理・連携推進センター	部 長 河 野 裕	部 長 宮 川 理 恵
センター長(兼1、2) 渡 辺 正 尚	[電子応用科]	主任研究員 串 田 賢 一
研究管理幹(富) 渡 辺 誠	主任研究員 木 島 一 広	主任研究員 鈴 木 文 晃
研究管理幹(兼2) 中 村 聖 名	研 究 員 中 村 卓	研 究 員 佐 藤 博 紀
研究管理幹 佐 野 正 明	研 究 員 富 永 裕 輝	会計年度任用職員 数 野 真 裕 美
	技 師 小 西 啓 史	会計年度任用職員 岡 治 美
総務課	会計年度任用職員 和 光 順 子	
課長(事務取扱) 渡 辺 正 尚	[システム開発科]	ワイン技術部
副 主 査 權 正 裕 之	主任研究員 宮 本 博 永	部 長 木 村 英 生
主 任(兼2) 水 上 京 平	専 門 員 萩 原 茂 永	主任研究員 小 松 正 和
主 事(富) 渡 邊 大 河	研 究 員 保 坂 響	研 究 員 佐 藤 憲 亮
主 事 田 中 智 唯	技 師 浅 川 拓 也	会計年度任用職員 三 科 浩 仁
会計年度任用職員 飯 田 恵 子	技 師 中 込 亮	会計年度任用職員 窪 田 守
会計年度任用職員 中 村 澄 香		
会計年度任用職員(富) 大 月 恵 美		
会計年度任用職員 河 崎 千代美		
企画連携推進部	材料・燃料電池技術部	富士技術支援センター
部 長 萩 原 義 人	主幹研究員・部長 恩 田 匠	センター長 宮 川 和 幸
	[工業材料科]	副センター長 井 出 博 幸
[総合相談・連携推進科]	主幹研究員 阿 部 治	研究管理幹(兼1) 渡 辺 誠
主任研究員 長 沼 孝 多	主任研究員 石 田 正 文	
主任研究員(兼1) 尾 形 正 岐	主任研究員 鈴 木 大 介	
主任研究員(富) 古 屋 雅 章	主任研究員 深 澤 郷 平	
		繊維技術部
[企画・情報科]	[化学・燃料電池科]	主幹研究員・部長 五十嵐 哲 也
主任研究員 清 水 章 良	主任研究員 三 神 武 文	
主任研究員 布 施 嘉 裕	主任研究員 上 垣 良 信	
主任研究員 尾 形 正 岐	主任研究員 芦 澤 里 樹	
主任研究員(富) 古 屋 雅 章	研 究 員 宮 澤 航 平	
会計年度任用職員 金 丸 美 穂	(燃料電池評価プロジェクト)	
	会計年度任用職員 加賀爪 広	
甲府技術支援センター	会計年度任用職員 塩 原 敦	
センター長 渡 辺 正 尚	会計年度任用職員 穴 水 弘 一	
副センター長 八 代 浩 二	会計年度任用職員 丸 山 知 子	
		[技術支援科]
食品酒類・研磨宝飾技術部	機械技術部	主任研究員 秋 本 梨 恵
部 長 宮 川 和 博	部 長 西 村 通 喜	専 門 員 吉 村 千 秋
		会計年度任用職員 勝 俣 久 美
[食品酒類・バイオ科]	主幹研究員 早 川 亮	会計年度任用職員 高 山 美 和
主任研究員 尾 形 美 貴	主任研究員 米 山 陽	
主任研究員 橋 本 卓 也	専 門 員 岩 間 貴 司	
主任研究員 樋 口 か よ	専 門 員 河 西 伸 一	
技 師 中 山 鋭 士	研 究 員 坂 本 智 明	
	研 究 員 長 田 和 真	
[研磨・宝飾科]	研 究 員 雨 宮 敦	
主任研究員 小 松 利 安	会計年度任用職員 日 原 正 登	
専 門 員 佐 野 照 雄		
研 究 員 林 善 永		
研 究 員 佐 藤 貴 裕		
会計年度任用職員 相 原 優 子		
会計年度任用職員 鶴 田 裕 太		
		機械電子技術部
		主幹研究員・部長 石 黒 輝 雄
		[機械電子科]
		主幹研究員 勝 又 信 行
		研 究 員 渡 邊 慧 輔
		技 師 小宮山 裕 仁
		[素材科]
		主任研究員 寺 澤 章 裕
		主任研究員 望 月 陽 介
		指 導 主 幹 高 尾 清 利

(兼1)：所内兼務 (富)：富士技術支援センター
(兼2)：総合理工学研究機構と兼務

5. 職員配置

(令和8年3月31日現在)

	行政職							研究職											会計 年度任用職員	合計
	所 長	セン ター 長	副 セン ター 長	課 長	副 主 査	主 任	主 事	セン ター 長	副 セン ター 長	研究 管理 幹	主 幹 研究員・ 部長	部 長	主 幹 研究 員	主 任 研究 員	指 導 主 幹	専 門 員	研 究 員	技 師		
山梨県産業技術センター	1																			1
管理・連携推進センター		(1) ^{1,2}								2(1) ²										2 (2)
総務課				(1) ¹	1	(1) ²	2												4	7 (2)
企画連携推進部												1								1
総合相談・連携推進科														1(2) ¹						1 (2)
企画・情報科														4					1	5
甲府技術支援センター		1							1											2
食品酒類・研磨宝飾技術部												1								1
食品酒類・バイオ科														3				1		4
研磨・宝飾科														1		1	2		2	6
電子・システム技術部												1								1
電子応用科														1			2	1	1	5
システム開発科														1		1	1	2		5
材料・燃料電池技術部											1									1
工業材料科													1	3						4
化学・燃料電池科														3			1			4
(燃料電池評価プロジェクト)																			4	4
機械技術部												1	1	1		2	3		1	9
デザイン技術部												1		2			1		2	6
ワイン技術部												1		1			1		2	5
富士技術支援センター			1						1	(1) ¹										2 (1)
繊維技術部											1									1
製品開発科							(1) ¹						1	1(1) ¹		1			1(1) ¹	4 (3)
技術支援科														1		1			2	4
機械電子技術部											1									1
機械電子科													1				1	1		3
素材科														2	1					3
合計	1	1 (1) ^{1,2}	1	0 (1) ¹	1	0 (1) ²	2 (1) ¹	1	1	2 (1) ¹ (1) ²	3	6	4	25 (3) ¹	1	6	12	5	20 (1) ¹	92 (10)

(括弧)¹: 所内兼務

(括弧)²: 総合理工学研究機構と兼職

6. 令和7年度決算

主な事業経費

歳入

区分（人件費を除く）	決算額 (千円)	備考
試験等手数料	6,158	依頼試験、依頼加工、証明書等
機械使用料	44,275	設備使用
生産物売払収入	222	ワイン、酵母
受託事業収入	2,272	中小企業課題対応受託研究
行政財産使用料	13	行政財産の使用に係る収入
財産貸付収入	195	自動販売機設置
外部資金	32,233	燃料電池・水電解開発加速化事業費

歳出

区分（人件費を除く）	決算額 (千円)	備考
所運営費（主な経費） ・運営会議（委員謝金、旅費、その他） ・依頼試験関連経費（消耗品費、修繕費） ・外部評価会議（委員謝金、旅費）	183,575	所の運営に要する経費
研究指導費（主な経費） ・研究事業関連経費（備品、消耗品、委託費、原材料費、旅費、負担金） ・講習会等の開催に係る経費（講師謝金、旅費等） ・技術情報構築支援事業 ・利用促進事業	95,858	経常研究費 技術相談、中小企業課題対応受託研究、企業訪問（技術支援） 情報提供等に要する経費
成長戦略研究費	14,871	成長戦略研究に係る研究費
総合理工学研究機構費	14,949	総合理工学研究機構に係る研究費
ワイン技術指導費（主な経費） ・ワイン製造に係る経費	10,016	ワイン技術部の運営等に要する経費
デザイン情報調査提供事業費 ・デザイン情報調査提供事業	983	中小企業のデザイン開発力向上のためのデザイン情報の収集・提供等の事業に要する経費
職員職務発明特許出願費	300	職員の職務発明等に関する特許出願、県有特許権の管理を行う経費
高度研究開発促進事業費	2,741	県内産業の高度化を図ると同時に産業技術センターの研究開発を促進するため、特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する人材による指導を行うための経費
基礎的技術産業集積活性化推進事業費（主な経費） ・ものづくり人材育成研修事業 ・イノベーション支援棟管理費 ・富士技術支援センターイノベーション支援棟整備事業費	21,261	医療機器をはじめとする機械電子産業や地場産業などの製品開発支援機能を強化することで、中小企業を後押しして高付加価値化を図り、受注拡大に繋げるための経費
やまなしブランド推進事業費 ・郡内織物ライフプロダクト開発支援事業費	433	郡内織物産業を牽引していく人材育成及び製品開発を支援するための経費（地方創生推進交付金事業）
外部資金 燃料電池関連産業集積・育成支援事業費 燃料電池・水電解開発加速化事業費	32,233	水素の本格的な普及拡大及び産業競争力の強化に向け、水電解装置と燃料電池の研究・技術開発を加速化させるための事業に要する経費

7. 新設機器・設備

(1) 甲府技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
競輪の補助金(JKA)	落下衝撃試験機 (包装貨物落下試験機)	神栄テクノロジー(株) DTS-80	包装貨物の落下試験
	落下衝撃試験機 (振子式衝撃試験機)	神栄テクノロジー(株) PST-300	小型製品の耐衝撃性能評価
	落下衝撃試験機 (加速度計測器)	神栄テクノロジー(株) SMH-12-C5A5	落下衝撃試験の加速度計測
県単独(総理研)	高速冷却遠心機	エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ(株) CR22N	試料の遠心分離
	自動滴定装置	東亜ディーケーケー(株) AUT-801	食品の酸度・アミノ酸度等の自動測定
	モバイルワークステーション	iiyama PC SENSE-18WG191-U9-XKZX	AI モデルの学習・評価
	耐環境型コンピュータ	GIGABYTE AORUS MASTER	総理研テーマの実証試験(林業用重機の自動運転)に使用
県単独(成長戦略)	光沢計	Rhopoint Flex20	高光沢な工業素材表面の光沢度評価
	マイクロプレートリーダー	コロナ電気(株) SH-1200Lab	少量多検体試料の迅速比色分析
	機上計測ソフトウェア	測ラティス	計測用の G コードプログラムの作成

(2) 富士技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
競輪の補助金(JKA)	プラスチック射出成形機(30 トン)	ファナック(株) ROBOSHOT α-S30iB	プラスチックの射出成形
県単独	マイクロビッカース硬さ試験機	(株)ミットヨ HM-103	金属の硬さを評価する装置

8. 山梨県産業技術センター 第2期中期運営計画

産業技術センターでは、第1期中期運営計画の実施結果を踏まえ、県内中小企業が安定的に収益を上げ、持続的に成長していくことを目標に掲げ、令和5年度から8年度までの4年間の第2期中期運営計画を策定し、実施している。

【産業界が直面している状況】

■世界的な潮流

- ・原油価格・原材料価格の高騰
- ・世界的な半導体不足の影響
- ・脱炭素化・SDGs への取り組みが加速
- ・新型コロナウイルスの影響

■地域固有の課題

- ・迅速なものづくりの展開
- ・技能・技術の更なる深化・高度化
- ・技能・技術の円滑な継承
- ・適切な DX への取り組み

【計画の方向性とアクション】

<Action1：技術支援機能の強化>

産業構造の変化や製品の多様化に伴う企業ニーズの変化や社会情勢の変化に柔軟に対応していくため、出口を見据えたソリューション機能の充実を図りながら、技術支援機能を強化する。

- ① 技術支援業務の推進
- ② DX 関連技術に関する技術支援の推進
- ③ 総合相談窓口業務の推進
- ④ 要素技術分野及び戦略産業分野の支援
- ⑤ 中小企業重点支援事業の実施
- ⑥ スタートアップ支援の推進

<Action2：技術移転・事業化支援の推進>

成長分野への進出や未来の山梨の創造につながる研究に取り組み、その成果の技術移転によって企業の技術力及び製品開発力の強化、更なる競争力の強化につなげ、新たな事業展開へと発展させる。

- ① 戦略的な研究の推進
- ② 戦略的な知財の権利化・ノウハウの蓄積
- ③ 研究成果の普及及び情報発信の推進
- ④ 研究成果の技術移転の推進
- ⑤ 多様な企業ニーズに応える受託研究や共同研究の推進

＜Action3：オープンイノベーション※による高付加価値製品開発の推進＞

他の研究機関や産業支援機関、金融機関等との連携強化によりオープンイノベーションを推進し企業が求める課題に迅速かつ的確に対応する。

- ① 他機関との連携推進
- ② オープンイノベーション推進のための橋渡し業務
- ③ ブランド・デザイン戦略の推進と、試作創作機能の整備及び人材育成
- ④ 脱炭素化・水素利用社会への適応
- ⑤ 地域の課題を地域の技術で解決し、事業化につなげるオープンイノベーションの推進

＜Action4：組織運営の最適化＞

社会情勢や経済状況がめまぐるしく変化していく中、多様な技術ニーズに柔軟に対応できる組織体制を構築する。

- ① 計画的な職員の能力開発と育成
- ② 危機管理対策の推進
- ③ センター運営の見える化・効率化

【最終目標】

オープンイノベーションと DX の促進による持続的成長企業の創出

※ オープンイノベーション：既存の組織の枠組みを超え、広く知識や技術を集結してイノベーションを起こすこと

9. 令和7年度業務体系

令和7年度は、「技術支援」「研究開発」「人材育成」「情報提供」「技術移転・事業化支援」を柱に、中小企業が抱える技術課題の解決や新技術・新製品開発の支援、次世代の産業展開に向けた支援等を実施した。

●事業の具体的な取り組み

【技術支援業務】

○企業訪問（企業等へ直接出向いた支援）

- ・製造現場での技術支援
- ・研究成果を活用した技術支援
- ・未利用企業訪問
- ・各種団体等の要請による職員派遣

○技術相談・依頼試験・設備使用

- ・依頼試験、設備使用への対応
- ・各部及び各担当間で連携した技術支援
- ・設備利用研修の実施
- ・設備機器の利用促進

○総合相談窓口の体制強化

- ・関係機関との連携強化
- ・甲府と富士の連携強化（オンラインシステムの活用）

○中小企業重点支援事業の実施（職員を一定期間企業に派遣しての技術支援）

- ・研究員を派遣し、企業の直面する課題を解決
- ・特に高度な知識、技術を要する課題等に対しては客員研究員を派遣

○成長産業への参入促進

- ・やまなし産業支援機構など関係機関と連携し、クリーンエネルギー、燃料電池、医療関連機器などの成長分野の事業化に取り組む企業へ技術支援を実施

○中小企業の海外展開支援事業

- ・規格適合性評価試験サービス
- ・海外規格情報の閲覧サービス
- ・専門相談員による技術相談
- ・JETRO との連携による支援

○IoT 化による生産性向上の支援

- ・IoT、ロボットに関する研究開発に取り組み、技術やノウハウを蓄積
- ・AI/IoT 技術導入に関する支援

○戦略産業分野への支援

- ・燃料電池関連技術及び医療機器関連産業分野への支援

○地域産業の個別課題を地域内で解決する取り組み

- ・オープンイノベーション推進の取り組み

○公設試験研究機関との連携強化を図る中で機器整備や支援事業を実施

- ・医療産業などの成長分野関連技術の支援

○技術研究会

- ・技術を核とした研究会活動を支援

【研究開発業務】

○産学官連携研究の促進

- ・研究テーマ 25 課題を実施。このうち 16 課題を企業、大学及び総合理工学研究機構等と連携して実施
- ・国の委託事業（成長型中小企業等研究開発支援事業等）の積極的な取り組み
- ・早期事業化に向けた研究の推進

○競争的資金の積極的な獲得と活用支援

- ・競争的研究資金の導入支援

○産業財産権取得と有効活用促進

- ・産業財産権等の取得を意識しながら研究開発業務を実施

○課題対応受託研究への対応

- ・企業で対応が困難な研究開発課題をセンターが実施

○燃料電池・水電解開発加速化事業

- ・燃料電池の開発に不可欠な性能評価を行える機能を確立し、技術支援体制を強化

○オープンイノベーションの推進

- ・企業ニーズを把握して大学等の技術シーズを探索し、国・県・産業支援機関等の補助制度を活用できるように支援
- ・信州大学繊維学部との連携推進
- ・産業技術総合研究所との連携推進（産総研 IC 事業の推進）

○研究成果の普及啓発及び情報発信の促進

- ・出前技術講座、企業訪問、ホームページなどにより周知

【人材育成業務】

○技術講習会・研修会

- ・最新の技術情報や、事業化、経営支援に関する情報提供を行う講習会・研修会を開催

○出前技術講座

- ・センター職員を企業、組合等に直接派遣して講座を実施

○ものづくり人材育成研修

- ・県内企業を対象に、製造技術、開発技術、評価技術等について、座学、実習形式で研修を開催

○技術者研修

- ・中小企業の従業員等を一定期間受け入れて行う研修を実施

○オープンイノベーション推進のための人材育成

- ・オープンイノベーションの理解度を高め、効果的にオープンイノベーションを推進

○郡内織物ライフプロダクト開発支援事業 県内テキスタイル DX 研修

- ・県内の機屋、デザイナー、縫製業者などものづくりに係る事業者を対象として、デジタルツールを活用したものづくりの研修を実施

【情報提供業務】

○研究報告の発行

○刊行物（年報、センターニュース及びデザイン情報紙）の発行

○Web（甲斐絹ミュージアム、フェイスブック・ブログ シケンジョテキ、YAMANASHI DESIGN ARCHIVE）による情報発信

- やまなし産学官連携研究交流事業での研究成果発表及び動画配信
- プロポーザルページによる情報発信
- センターご利用ガイドの発行及びメールマガジンの配信

【技術移転・事業化支援業務】

- 研究成果の技術移転促進
 - (a) 研究成果フォローアップ事業
 - ・ 終了した研究テーマの追試験や試作等を行うことで研究成果を発展させ、技術移転を促進
 - (b) 企業ニーズ対応試作開発事業
 - ・ 研究成果に対して、企業から技術移転や事業化の要望がある場合に、試作等による補完研究を実施
- 産学官金連携による事業化支援
 - ・ 「オープンイノベーション推進ネットワーク」により、ニーズの把握から研究開発の実施、販路開拓等を一元的に支援

【その他の事業】

- センターの運営に関すること
 - ・ 運営会議の開催
 - ・ 外部評価会議の開催
 - ・ 業界との意見交換（個別訪問）
- 技術支援に資する機器の設置
 - ・ 計画的な設備機器の新規導入・更新等
- 技術交流
 - ・ 産業技術連携推進会議、学会等への参加・発表
 - ・ 各種会議・審査会等への派遣
- 職員の資質向上
 - ・ 職員のスキルアップに向けた計画的な研修派遣

10. 令和7年度業務実績一覧表

管理企画：管理・連携推進センター／企画連携推進部、食品研磨：食品酒類・研磨宝飾技術部、電子システム：電子・システム技術部、材料燃料電池：材料・燃料電池技術部、機械：機械技術部、デザイン：デザイン技術部、ワイン：ワイン技術部、繊維：繊維技術部、機械電子：機械電子技術部

		管理 企画	食品 研磨	電子 シス テム	材料 燃料 電池	機械	デザ イン	ワイン	繊維	機械 電子	計
技術支援											
企業訪問	企業数	66	135	217	142	96	153	43	133	70	1,055
製造現場での技術支援	企業数	64	131	177	110	85	116	42	128	53	906
未利用訪問	企業数	0	3	10	14	6	0	0	3	16	52
研究成果普及支援	企業数	2	1	30	18	5	37	1	2	1	97
試験研究機関・大学・金融機関との連携	件	5	22	12	24	4	2	0	0	21	90
技術相談	件	39	784	957	1,045	884	268	309	551	502	5,339
来所相談	件	28	561	530	645	770	150	276	501	430	3,891
電話相談	件	6	180	126	100	44	42	30	19	33	580
インターネット相談	件	5	43	301	300	70	76	3	31	39	868
中小企業重点支援事業	企業数	0	1	3	0	2	1	2	0	0	9
依頼試験	件	-	327	0	1,704	131	55	515	509	1,356	4,597
依頼加工	件	-	1,537	0	0	0	0	0	0	0	1,537
設備使用	件	-	1,144	9,408	10,213	2,678	363	1,133	1,212	7,660	33,811
試験成績証明書等交付	件	-	10	0	2	0	24	2	0	5	43
設備利用研修会	回	-	0	0	0	1	0	0	0	2	3
	参加者数	-	0	0	0	22	0	0	0	28	50
設備利用研修（個別）	参加者数	-	45	38	42	37	19	9	58	62	310
研究会への支援	回	-	4	-	8	2	1	-	-	5	20
	参加者数	-	165	-	102	5	17	-	-	83	372
客員研究員指導	回	-	4	10	-	-	12	-	23	-	49
研究開発											
研究テーマ	テーマ数	0	3	4	5	2	2	2	3	4	25
成長戦略課題	テーマ数	0	0	2	3	1	1	1	0	0	8
総理研課題	テーマ数	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3
経常研究	テーマ数	0	2	1	1	1	1	1	2	4	13
競争的資金研究	テーマ数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
産業財産権	件	0	0	0	2	0	1	0	15	0	18
特許権等（登録）	件	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
〃（出願）	件	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
〃（実施許諾）※契約数	件	0	0	0	0	0	0	0	15	0	15
課題対応受託研究	件	0	0	0	1	1	0	1	0	1	4
業績発表	件	2	4	6	8	2	0	3	4	2	31
口頭発表（学会等）	件	0	1	0	2	1	0	1	0	0	5
口頭発表（その他）	件	1	0	3	5	1	0	2	3	1	16
ポスター発表（学会等）	件	0	2	2	0	0	0	0	0	1	5
学会誌等掲載	件	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
専門誌等掲載	件	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3
人材育成											
出前技術講座	講座	0	2	9	2	0	3	4	15	1	36
	参加者数	0	32	48	19	0	32	213	646	21	1,011
ものづくり人材育成研修	講座	-	1	1	2	2	4	-	2	1	13
	参加者数	-	4	3	17	13	21	-	11	10	79
講習会・研修会	講座	2	10	4	4	2	4	4	1	5	36
	参加者数	65	255	206	113	84	73	194	13	58	1,061
技術者研修	受講者数	-	1	0	1	0	7	0	15	0	24
県内テキスタイルDX研修	講座	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5
	参加者数	-	-	-	-	-	-	-	81	-	81
情報提供											
研究成果発表会	参加者数	67	-	-	-	-	-	-	-	-	67
研究成果紹介（動画配信）	テーマ数	0	1	1	2	1	0	1	1	0	7
研究成果紹介（ポスター）	テーマ数	0	5	4	7	4	4	2	4	5	35
センターニュース、デザイン情報紙発行	回	2	-	-	-	-	6	-	-	-	8
メールマガジン配信	回	50	-	-	-	-	-	-	-	-	50
プロポーザルページ（ホームページ）	回	6	-	-	-	-	-	-	-	-	6
技術移転・事業化支援											
一般（産業財産権実施許諾を含む）	件	0	2	0	8	0	47	0	15	0	72
フォローアップ事業／ニーズ対応試作開発事業	件	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3
見学者											
見学者	人	43	64	24	28	41	50	16	247	64	577
報道関係											
テレビ等	件	1	0	0	2	0	3	0	2	1	9
新聞・情報誌等	件	2	4	0	1	0	17	1	2	1	28

運営

1. 運営会議

(1) 会議の概要

実施日	議題
令和7年7月31日 (会場:甲府技術支援センター)	(1) 第2期中期運営計画の進捗状況と令和7年度の実施計画について (2) その他

(2) 構成員（委員）名簿

[学識経験者]		
氏名	所属	役職
茅 暁陽	国立大学法人 山梨大学	理事・副学長
早川正幸	公立大学法人 山梨県立大学	理事長・学長
名取貴光	学校法人 C2C Global Education Japan 山梨学院大学	健康栄養学部長
[業界関係者]		
氏名	所属	役職
内田長久	山梨県菓子工業組合	理事長
天野 怜	山梨県酒造組合	会長
武田信彦	山梨県味噌醤油工業協同組合	理事長
内藤恵一	協同組合山梨県ジュエリー協会	専務理事
中込 裕	一般社団法人 山梨県情報通信業協会	副会長
伊藤征人	一般社団法人 山梨県鉄構溶接協会	副会長
青木一樹	一般社団法人 山梨県機械電子工業会	会長
有賀雄二	山梨県ワイン酒造組合	会長
加々美 好	山梨県絹人織織物工業組合	理事長
[関係機関]		
氏名	所属	役職
山本盛次	公益財団法人 やまなし産業支援機構	理事長

2. 試験・研究課題等の外部評価会議

(1) 評価に対する考え方

評価を受ける 目的	「山梨県立試験研究機関における評価指針（平成13年3月策定）」に基づき、山梨県産業技術センターが計画・実施する試験・研究が、効率的かつ効果的に実施されるよう、公平中立の立場から客観的な評価や意見をいただくために実施する。		
評価を受ける 課題	産業技術センターが実施する研究は、全て評価対象研究課題とする。ただし、総理研課題、競争的資金研究、課題対応受託研究は評価対象研究からは除く。		
研究課題の 評価方法	評価の種類は、「事前評価」「中間評価」「事後評価」の3種類とする。評価方法は、効果的・効率的な研究の推進と、研究員の意識啓発をねらいに、客観的判断が可能な5段階評価方式とする。		
	事前評価項目	中間評価項目	事後評価項目
	①研究の必要性 ②研究内容の新規性 ③研究目標、研究計画の妥当性 ④研究体制、研究予算の妥当性	①研究計画の進捗度 ②今後の研究計画の妥当性	①研究目標の達成度
評価結果に 対する対応	●基本的な考え方 委員の評価点は、研究者が自らの研究を客観的に評価するための参考とする。 また、それぞれの評価コメントは、技術移転や研究立案に役立てていく。 ●評価点の基準 事前評価（①②③④）、中間評価（①②を総合的に判断） ・5点 優れる ・4点 やや優れる ・3点 良い ・2点 やや劣る ・1点 劣る 事後評価（①） ・5点 計画を大きく上回る成果となった ・4点 計画を上回る成果となった ・3点 計画通りの成果となった ・2点 計画を下回る成果となった ・1点 成果が得られていない ●最終評価点の算出方法 事前評価： 各評価項目における全委員の評価点を平均し、小数点第二位を四捨五入したものを、各評価項目の評価点とする。最終評価点は、各評価項目の評価点の平均値を算出し、小数点第二位を四捨五入したものとする。 中間評価、事後評価： 全委員の評価点を平均し、小数点第二位を四捨五入したものを最終評価点とする。 ●最終評価点が3点未満となった課題に対する対応 研究企画管理委員会により今後の対応を協議する。		

(2) 評価対象課題

実施日	対象課題	評価種別
(基盤分野) 令和7年8月22日	(8テーマ) ・ CNF技術を応用した新規和紙製品開発 ・ NC制御による局所的ピーニング処理法の研究 ・ ダイカスト金型の高機能化に関する研究 ・ AI検査に適した検査環境構築に関する研究 ・ マグネシウム合金鋳造時の金型不具合に関する研究 ・ 三次元座標測定機の定期管理方法についての研究 ・ 水素・燃料電池システムの電動アシスト自転車適用評価 ・ 多軸ロボットの耐久試験への適用とその評価	事後評価
	(6テーマ) ・ 脱炭素化に貢献する輸送機器部材の表面処理方法の開発 ・ 微細形状転写用金型の成形技術に関する研究 ・ 放射妨害波測定における広帯域タイムドメインスキンの活用に関する研究 ・ メタサーフェスを応用したアンテナの開発 ・ 産業用ロボットを用いたスパークリングワインのオリ下げ工程におけるオリの挙動解析 ・ デジタルエンジニアリングにおけるエックス線CT検査装置の活用について	事前評価
(地場分野) 令和7年8月19日	(5テーマ) ・ 県産日本酒の競争力向上のための新規日本酒酵母に関する研究 ・ 健康志向のパン製造技術の開発 ・ 宝石鑑別支援ツールの開発 ・ パラメトリックデザインの地場産業への活用に関する研究 ・ はっ水性の評価方法の検討	事後評価
	(1テーマ) ・ 山梨の特徴的な素材を生かしたアップサイクル技術の開発	中間評価
	(6テーマ) ・ 保存性と栄養価の高いパン類の開発 ・ 気候変動に適応するブドウ品種を用いた高品質な県産ワインの製造技術に関する研究 ・ 宝石加工用木ゴマの材料に関する研究 ・ パラメトリックデザイン手法による有機的形狀デザイン開発に関する研究 ・ フォトグラメトリを用いた地域資源の高精度三次元化と活用に関する研究 ・ 光学特性を活用した織物の開発	事前評価

(3) 評価結果

①令和6年度に完了した研究課題の事後評価について

令和6年度に研究が完了した13課題の事後評価の評価点は、基盤分野では3.2～4.4の範囲（平均3.7）、地場分野では3.6～4.2の範囲（平均3.8）であった。これらについては、今後、評価委員のコメントを参考に技術移転等に努めていく。

②令和8年度に実施する研究課題の事前評価及び令和7年度における中間評価について

事前評価対象12課題の評価点は、基盤分野では3.2～3.7の範囲（平均3.4）、地場分野では3.2～3.6の範囲（平均3.3）であった。中間評価対象1課題の評価点は、地場分野では4.2であった。評価点の平均が3点以上の課題については、外部評価委員からのコメントを参考に研究を実施・継続することとした。

(4) 委員名簿
基盤分野

氏名	所属	役職
郷健太郎	国立大学法人 山梨大学	教授
平晋一郎	国立大学法人 山梨大学	准教授
青木一樹	キャノンアネルパ株式会社	富士事業所長
小澤一昭	株式会社山梨県環境科学検査センター	代表取締役社長
菊地明久	株式会社長田電材工業	代表取締役社長

地場分野

氏名	所属	役職
奥田 徹	国立大学法人 山梨大学	理事・副学長
中川裕子	学校法人 C2C Global Education Japan 山梨学院短期大学	教授
柳本知一	一般社団法人 甲府宝飾協会 山梨県貴金属装身具技能士会	理事 理事
小林新司	有限会社テンジン	代表取締役社長
竹村茂樹	ウィールビー	代表

3. 業界との意見交換

業界	団体名	内容	実施日
食品・酒類	山梨県菓子工業組合	(1) 各支援事業、関連研究、技術移転、事業化などに関する紹介やその他の話題提供 (2) 運営会議での質問に対する回答 (3) 各支援事業、研究シーズ、保有特許等についての認知度、期待感、活用の可能性やセンターに対する要望などの意見交換 ※個別訪問により実施 ※各業界団体から、意見交換の場の要望を確認したうえで実施を判断	令和7年11月17日
	山梨県パン協同組合		令和7年11月6日
	山梨県ワイン酒造組合		令和7年12月4日
研磨・宝飾	協同組合山梨県ジュエリー協会		令和7年11月11日
	(一社)宝石貴金属協会		令和7年12月9日
	山梨県水晶美術彫刻協同組合		令和7年11月19日
和紙	市川和紙工業協同組合		令和7年9月19日
	西嶋和紙工業協同組合		令和7年9月24日
機械電子	(一社)山梨県鉄構溶接協会		令和7年12月10日
	山梨県鍍金工業組合		令和7年10月30日
	(一社)山梨県機械電子工業会		令和7年10月10日 令和7年11月6日 令和7年11月17日
	大月精密機器協同組合		令和7年11月5日
	上野原機械器具工業協同組合		令和7年11月5日
織 維	山梨県絹人織織物工業組合		令和7年11月7日

技術支援業務

1. 技術相談、企業訪問の担当別実績

部	担当	技術相談 (件)	企業訪問 (企業数)	見学者 (名)
企画連携推進部		39	66	43
食品酒類・研磨宝飾技術部	食品酒類・バイオ科	418	87	64
	研磨・宝飾科	366	48	
電子・システム技術部	電子応用科	637	113	24
	システム開発科	320	104	
材料・燃料電池技術部	工業材料科	540	62	28
	化学・燃料電池科	505	80	
機械技術部		884	96	41
デザイン技術部		268	153	50
ワイン技術部		309	43	16
繊維技術部	製品開発科	363	26	247
	技術支援科	188	107	
機械電子技術部	機械電子科	258	20	64
	素材科	244	50	
合計		5,339	1,055	577

2. 中小企業重点支援事業

(1) テーマ一覧

テーマ	担当	期間
製造工場内の DX システム開発支援	システム開発科	R7/5/12～R8/2/5
高周波伝送ケーブルの特性測定技術習得	電子応用科	R7/5/29～9/30
三次元測定機の使用方法	機械技術部	R7/5/26～10/30
三次元測定機の基礎技術習得	機械技術部	R7/6/25～9/8
装置の筐体デザインモデルの完成	デザイン技術部	R7/6/23～9/30
AI による画像識別技術の検査工程への適用	システム開発科	R7/10/6～R8/3/6
蔵内の衛生管理手法の確立	食品酒類・バイオ科	R7/11/14～R8/1/7
亜硫酸を用いた赤ワインの品質管理について	ワイン技術部	R7/12/15～R8/1/13
オリ下げ剤を用いたワインの色調制御技術	ワイン技術部	R8/1/13～3/9

(2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1	3	0	2	1	2	0	0	9

3. 客員研究員による支援

中小企業の技術及びデザインの高度化を図るとともに、産業技術センターの研究開発力を促進するため、特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する人材を国内外から客員研究員として招聘する。

○デザイン(繊維技術部)

氏名 家安 香 (いえやす かおり)
所属 Edelkoort East株式会社 / トレンドユニオン日本支社 代表
支援概要 織物産業におけるブランド力の向上
支援実績
・ 地場製品のブランド化に向けた企業支援
・ 職員への技術及び研究に関するアドバイス

○デザイン(デザイン技術部)

氏名 大沼 敦 (おおぬま あつし)
所属 株式会社大沼デザインスタジオ 取締役 / 東洋大学 教授
支援概要 地場産業、伝統工芸の技術・素材の潜在能力の把握～商品開発への展開支援
支援実績
・ 県内企業への技術支援
・ センター職員への研究及び技術指導

○ロボット、AI/IoT関連 (システム開発科)

氏名 小谷 信司 (こたに しんじ)
所属 山梨大学 大学院総合研究部 教授、学長補佐、総合情報戦略部長
支援概要 ロボット、AI/IoT等に関する指導・企業支援
支援実績
・ 県内企業の課題解決・人材育成 (講習会講師ほか)
・ ロボット、AI/IoT等に関する研究の指導

○食品関連 (食品酒類・バイオ科)

氏名 宮崎 浩子 (みやざき ひろこ)
所属 実醪 (みむろ) 株式会社 代表取締役
支援概要 酒類の評価技術の向上に係る指導、技術支援の推進
支援実績
・ 職員への技術指導
・ 研究テーマに関するアドバイス
・ 県内酒類製造者への技術支援

4. 依頼試験・設備使用等

(1) 実績一覧

項目	依頼試験	依頼加工	設備使用	証明書等交付	合計
件数	4,597	1,537	33,811	43	39,988

(2) 依頼試験の内訳

①項目別

項目	機械 金属	精密 測定	環境 試験	電気 電子	化学 分析	貴金属 ・ 宝飾石	食品・ 酒類・ 微生物	ニット ・ 縫製	設計 解析	繊維	合計
件数	1,532	124	1,353	0	261	3	760	55	0	509	4,597

②担当別

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	327	0	1,704	131	55	515	509	1,356	4,597

(3) 依頼加工等の内訳

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1,537	0	0	0	0	0	0	0	1,537

(4) 設備使用の内訳

①項目別

項目	機械 設計	工作 機械等	電気 電子	化学 分析	研磨 宝飾	食品 加工機	繊維	その他	合計
件数	25,596	387	3,294	2,605	544	81	1,277	27	33,811

②担当別

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1,144	9,408	10,213	2,678	363	1,133	1,212	7,660	33,811

(5) 試験成績証明書交付の内訳

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	10	0	2	0	24	2	0	5	43

(6) その他（酒母）

項目	件数	担当
酒母	7	ワイン技術部

(7) 設備利用研修会

①一覧

テーマ	担当	実施日	受講者数
「エックス線 CT 検査装置」でできること	機械電子科	R7/9/30	9
(公財)JKA 公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業 落下衝撃試験セミナー「包装貨物の落下試験と小型製品の衝撃試験について」 設備利用研修会	機械技術部	R7/12/17	22
(公財)JKA 公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業 プラスチック射出成形機 設備利用研修会	素材科	R8/1/14	19
合計			50

②担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	0 (0設備)	0 (0設備)	0 (0設備)	22 (1設備)	0 (0設備)	0 (0設備)	0 (0設備)	28 (2設備)	50 (3設備)

(8) 設備利用研修（個別）

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	45	38	42	37	19	9	58	62	310

5. 研究会への支援

食品酒類・研磨宝飾技術部

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
食品酒類 ・ バイオ科	山梨県食品技術研究会	117	R7/8/1	総会	ベルクラシック甲府	35
			R7/8/1	設立 40 周年記念講演会・特別講演及び記念式典	ベルクラシック甲府	56
			R7/10/29	秋の技術講演会	甲府技術支援センター	36
			R8/3/9	春の技術講演会	甲府技術支援センター	38
合計						165

材料・燃料電池技術部

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
化学 ・ 燃料電池科	山梨県表面処理研究会	17	R7/5/16	総会	甲府技術支援センター	10
			R7/8/28	県外見学会	塚田理研工業(株)	15
			R7/9/5	勉強会	甲府技術支援センター	13
			R7/9/18	県外見学会	東京ビッグサイト	11
			R7/12/5	県外見学会	東京ビッグサイト	4
			R7/12/18	第 39 回研究発表会	甲府技術支援センター	13
			R8/1/30	合同勉強会	甲府技術支援センター	30
			R8/2/9	役員会	甲府技術支援センター	6
合計						102

機械技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県型技術研究会	13	R7/8/1	総会・講演会	甲府技術支援センター	3
		R7/12/5	県外見学会	東京ビッグサイト	2
合計					5

デザイン技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県ニット研究会	14	R7/6/10	総会	甲府技術支援センター	17
					17

機械電子技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
テクノネット「ふじざくら」	32	R7/4/16	幹事会	富士技術支援センター	11
		R7/7/30	総会及び講演会	富士技術支援センター	21
		R7/10/24 ～ 25	視察研修	燕三条ものづくりメッセ、藤次郎オープンファクトリー、諏訪田製作所	14
		R8/12/12	技術講習会（2 講演）	富士技術支援センター	20
		R8/3/17	企業見学会	浜松ホトニクス(株) 常光製作所	17
合計					83

研究開発業務

1. 産学官連携研究の促進

(1) 研究の形態

区分	テーマ数	概要
成長戦略課題	8	やまなし科学技術基本計画に掲げる成長促進分野について、県の試験研究機関が行う研究
総理研課題	3	山梨県総合理工学研究機構 [*] がコーディネートする産学官連携研究
経常研究	13	技術支援や企業の課題解決等のうえで必要となる研究
競争的資金研究	1	国や特殊法人が公募する競争的資金研究に採択された研究

^{*}山梨県総合理工学研究機構は、県立試験研究機関の人的資源や設備、研究ノウハウを横断的、有機的に連携させ、新しい技術や、新しい産業創出につながる研究開発を行うとともに、産学官の連携を積極的に推進している県の組織。

(2) 研究テーマ

①成長戦略課題

マグネシウム合金耐食性皮膜の高品質化に関する研究（R5～R7）

鈴木大介・石田正文（工業材料科）・八代浩二（甲府技術支援センター）・宮澤航平（化学・燃料電池科）・佐野正明（管理・連携推進センター）・三井由香里（製品開発科）・長田和真（機械技術部）・西野創一朗（茨城大学大学院）・野坂洋一（㈱グローバルマグネシウムコーポレーション）

高圧ダイカスト鋳造されたマグネシウム合金に水酸化皮膜を形成すると、外観にムラが生じる場合がある。既報では、基材表面における表面ひずみの均一性が影響を及ぼし、皮膜形成に差異が生じることを明らかにした。本研究では、試験片および8インチホイール模型を供試材として、水酸化皮膜形成前にピーニング加工を適用することで、人為的に均質化した表面ひずみを付与し、皮膜の形成ムラの抑制を試みた。その結果、ピーニング加工により、水酸化皮膜の形成が促進され、かつ外観のムラが抑制されることが確認された。

山梨の特徴的な素材を生かしたアップサイクル技術の開発（R6～R8）

串田賢一・鈴木文晃・佐藤博紀（デザイン技術部）・芦澤里樹（化学・燃料電池科）・大沼敦（㈱大沼デザインスタジオ）・田所哲治（トリプルエー㈱）・笠井伸二（㈱山十製紙）

本研究は、山梨県特有の資源である白色鹿革およびワインパミス（ぶどう搾汁滓）に着目し、これらをアップサイクル素材として活用する新たな試みである。この成果は、地域固有の未利用資源を有効活用するアップサイクルの新たなモデルとして、持続可能な地域社会の実現に貢献できるものとする。

「山梨らしさ」を評価する感性評価モデル構築に適した学習画像に関する研究（R7～R8）

中村卓・木島一広（電子応用科）・浅川拓也（システム開発科）・串田賢一（デザイン技術部）・郷健太郎（山梨大学）・木下雄一朗（芝浦工業大学）

地域ブランディングにおいて、「地域らしさ」を明確にすることが有用である。地域らしさを評価するツールとして、風景画像の「山梨らしさ」を評価するAIモデルを作成している。この評価モデルは、「山梨らしさ」を0.0-1.0のスコアとして評価すると同時に、評価時にどこに注目したかを注目領域として提示した。しかし、現状の評価モデルの注目領域と人の注目領域に齟齬があり、評価結果への共感が得られにくいため、説明性に乏しい。課題を解決するために、「より人の判断に近づける」ために必要な学習画像の的確化手法の確立を試み、説明性の向上を試みた。

水素の還元性を利用した工業用途創出に関する研究 (R7～R9)

深澤郷平・鈴木大介・阿部治・石田正文（工業材料科）・芦澤里樹（化学・燃料電池科）・坂本智明・長田和真（機械技術部）・県内企業（3社）

本研究は、低炭素社会に向けた水素利用の拡大を背景に、グリーン水素の工業用途創出、とりわけ金属熱処理への適用を検討した。従来の熱処理では大気加熱に伴う鋼材の酸化・変色が課題であるため、水素の還元性を利用した変色抑制に着目した。光沢度による変色の定量評価手法を検討し、温度との関係を明らかにするとともに、酸水素バーナーによる炎焼入れでは局所的な焼入れと圧縮残留応力の付与を確認した。今後は変色防止技術の確立と用途展開を図る。

ブドウCNFの新規活用技術の開発 (R7～R9)

芦澤里樹・上垣良信・宮澤航平（化学・燃料電池科）・望月威夫（製品開発科）・渡邊慧輔（機械電子科）・森長久豊（山梨大学）

ワイン生産過程において発生するワインパミスの新規活用法としてホットプレス成形を検討した。含水したワインパミスは加圧熱成形可能であり、含水率の増加に伴って成形性も向上することが明らかになった。またワインパミスに含まれるペクチンの成形性への影響を評価した結果、ペクチンが成形性の向上に寄与していることが示唆された。

大型化する半導体製造装置部品の生産性向上に関する研究 ―機上計測における測定精度の評価― (R7～R8)

米山陽・雨宮敦・長田和真（機械技術部）・清水毅（山梨大学）

機械部品の生産過程では、長さ測定機により寸法精度を評価する必要があるが、半導体製造装置や航空機部品などに代表される大型部品では、可搬性が困難であることや、対応可能な測定機に限られるなど、生産工程での負担は大きい。加工工程での機上計測が可能となれば生産性向上に大きく寄与ができる。しかし、機上計測機能は測定能力の信頼性などに課題があり、十分に活用されていないのが現状である。そこで本研究では、機上計測機能の精度評価手法について検討を行い、誤差評価用の基準ゲージを製作した。その結果、製作した基準ゲージを用いてマシニングセンタの機上計測能力を評価したところ、基準値との誤差は位置決め精度より10倍以上大きいことがわかった。

山梨県産甲州ワインの香気成分の特徴解析に関する研究 (R7～R9)

佐藤憲亮・小松正和・木村英生（ワイン技術部）

山梨県内の各地域で栽培された「甲州」を用いたワインの特徴を解析することを目的として、「甲州」ワインの香気成分に関する研究に取り組んだ。本報告では、香気成分の網羅的な解析を実施するために、複数のカルボニル化合物、およびチオール化合物を一斉分析する手法をそれぞれ検討した。その結果、各手法において、カルボニル23種、チオール5種を同時定量できることを確認した。これらの手法を用いて、山梨県産の市販「甲州」ワインについて分析を行った結果、ワインごとに異なる香気成分の特徴がみられた。

光刺激による鳥獣の追い払い技術の確立 ―カラスへの効果確認― (R7～R9)

本田剛（総合農業技術センター）・木島一広・富永裕輝・小西啓史（電子応用科）・平田滋樹・小泉亮子（農研機構）

本研究は、農作物の鳥獣害対策として、点滅光を用いた鳥獣の忌避行動を誘発する技術の開発を目的とする。従来の防除手法は労力負担が大きく、また、音や光による対策は慣れにより効果が低下する課題があった。そこで、ヒトを含む動物が生理的な不快反応を示す点滅光に着目し、波長や点滅条件を制御可能な照射装置を試作した。カラスを対象とした実験では、赤色を含む点滅光が有効に忌避行動を誘発し、照射区域ではカラスが服装を記憶して人への警戒距離が大きく増加した。これにより、点滅光による条件付け効果が示され、省力的かつ持続的な鳥獣害対策としての有効性が示唆された。

②総理研課題

林業重機「フォワーダ」の無人運転化に関する研究 ―整地における無人自動運転化技術の確立― (R5～R7)

保坂響・浅川拓也・中込亮・宮本博永・萩原茂（システム開発科）・小澤雅之・大地純平（森林総合研究所）・古屋五嗣・小幡俊郎（古屋製材㈱）

近年、気候変動の緩和や環境保全の観点から林業が重要視されているが、人材不足・高齢化・労働災害の多発が課題である。本研究では、林地から平地の拠点まで伐木を運搬する林業用重機「フォワーダ」の自動運転化を

目指す。令和7年度は、令和6年度に試作用クローラロボットに実装したシステムをフォワードに搭載し、整地環境下でのフォワードの自動運転を実現した。RTK-GNSSによる評価の結果、経路追従誤差は最大0.36 mと許容範囲内に収まり、開発中の自動運転システムの有効性を確認した。本技術は林業分野に加え、各種移動ロボットへの応用が期待される。

新規酒米系統の特性把握及び県産酒米の高温対策技術の確立（R7～R9）

橋本卓也・尾形美貴・樋口かよ・中山鋭士（食品酒類・バイオ科）・長沼孝多（総合相談・連携推進科）・高橋真史・上野直也（山梨県総合農業技術センター）・山梨県酒造組合

本研究は、山梨県産日本酒の高付加価値化を目的として、本県への適応性が期待される酒造好適米「北陸酒289号」の特性把握と酒造適性の評価を行ったものである。本品種を含む3品種について、異なる標高で栽培した原料米を用い、精米特性、吸水性、消化性などの醸造特性を比較した。その結果、「北陸酒289号」は精米時間が他品種と比較して長いものの碎米率は低く、吸水性や消化性にも優れ、酒造適性上大きな問題は認められなかった。さらに実規模醸造試験において、製造者から従来品種と遜色なく醸造可能であるとの評価が得られた。また、醸造酒は、より淡麗、酸味などが強い傾向であることが確認された。

富士山防災学習カリキュラムの構築（R7～R9）

秋本梨恵（技術支援科）・勝又信行（機械電子科）・吉村千秋（技術支援科）・吉本充宏・本多亮・久保智弘・亀谷伸子・山河和也・秋葉祐理・岡田夏美（富士山科学研究所）・矢守克也（京都大学防災研究所）・酒井慎一（東京大学地震研究所）・内山美恵子（都留文科大学）・横山光（北翔大学）・三ツ井聡美（筑波大学）・藤巻桂吾（忍野小学校）

本研究は、火山災害時に主体的に行動できる小中学生の育成を目的として、富士山防災学習カリキュラムの構築を行うものである。火山災害では多様な現象に応じた適切な判断が求められるため、科学的知識とともに思考力の育成が重要とされる。産業技術センターは噴煙実験装置の開発に取り組み、令和7年度は短時間で準備や片付けが可能な小型立体タイプの噴煙実験装置を試作した。

③経常研究

デジタルジャカード技術を応用したテキスタイル開発（R5～R7）

秋本梨恵（技術支援科）・五十嵐哲也（繊維技術部）・吉村千秋（技術支援科）

本研究では、これまでに開発されたジャカード織りの組織生成に関する技術シーズを活用し、近年の市場ニーズである高付加価値なテキスタイル開発への応用を目的とした。本報では、技術的特徴である滑らかな階調変化を持つ高精細な画像表現に加え、立体感や凹凸形状を付加した生地の開発に取り組んだ。設計手法として、緯糸の一部に伸縮糸を使用してデジタルジャカード表現に物理的な凹凸を付加する手法、および素材の織度差と織物組織の差異で凹凸を表現する手法について検討し、試織を行った。また、試織した凹凸生地の物性試験を実施し、組織サイズの差異がスナッグ試験や摩耗強さに及ぼす影響を評価した。さらに、開発した生地の用途提案を目的として、インテリア製品の試作を行った。

金属積層造形条件と造形物の機械的特性に関する研究（R5～R7）

寺澤章裕・望月陽介（素材科）・萩原義人（企画連携推進部）・勝又信行（機械電子科）・古屋雅章（製品開発科）・渡邊慧輔（機械電子科）・早川亮（機械技術部）・石黒輝雄（機械電子技術部）・高尾清利（素材科）・小宮山裕仁（機械電子科）・坂本智明（機械技術部）・田中隆三・加納佳明・岩尾翔太（㈱松浦機械製作所）・孕石泰丈（山梨大学）

金属積層造形においては、造形条件、造形物の形状による影響で、変形や強度のばらつきが発生する。そのため、金属積層造形を活用するためには、変形量や強度のばらつきについて把握する必要がある。そこで、PBF（Powder Bed Fusion）方式の金属3Dプリンタで造形したドーム型のフレームを有する造形物について、変形量と圧縮試験による強度のばらつきについて考察を行った。その結果、レーザ走査速度が遅い場合には、台座とフレームを切り離した際に生じる変形が大きい傾向を確認できた。また、アンダーカット面は表面粗さが大きく、強度のばらつきに影響を与えることが確認できた。

醸造副産物の成分評価に関する研究 (R6～R7)

尾形美貴・樋口かよ・中山鋭士・橋本卓也 (食品酒類・バイオ科) ・長沼孝多 (総合相談・連携推進科)

本研究では、醸造副産物の有効活用を目的として、酒粕・ビール粕・ウイスキー粕の栄養成分を公定法により分析した。県内酒造メーカーの酒粕を比較した結果、タンパク質および炭水化物含量に大きな差異が認められ、県外大手メーカー品と比較すると、県内酒粕はタンパク質が少なく炭水化物が多い傾向が明らかとなった。酒粕は酒米の品種や仕込み条件により成分組成が変動することから、醸造副産物の特徴を活かした利用のためには、試料ごとの成分分析が有用であると考えられた。さらに、酒粕の熟成に伴う変化を測色計および各種分析機器により評価したところ、色調は白色から褐色へと変化し、糖類・有機酸・遊離アミノ酸の増加が確認された。これらの成分変化はメイラード反応の進行を示唆するものであり、熟成に伴う品質特性の変化を理解する上で重要な知見となった。

次世代デバイス用材料評価のための簡便で広帯域な誘電率測定方法の研究 (R6～R7)

富永裕輝・木島一広・中村卓・小西啓史 (電子応用科)

本研究では、次世代デバイス材料評価を目的として、簡便かつ広帯域な誘電率測定手法を提案した。試料をマイクロストリップライン間に挿入する測定治具と新たな計算手法を用いることで、寸法精度によらない広帯域測定を実現した。その結果、誘電率実部は 33 MHz～40 GHz で誤差 10%以下となり、本手法の有効性を確認した。

3D技術を活用した紙の立体漉きに関する研究 (R6～R7)

佐藤博紀・鈴木文晃・串田賢一 (デザイン技術部) ・芦澤里樹 (化学・燃料電池科)

山梨の伝統工芸の活性化と新商品開発の促進を目指し、デジタル技術を応用した簡易な立体漉き手法および商品の開発段階における AI 活用の有効性について検討を行った。また従来の工業的なパルプモールド成形と比較し、有効な点を考察した。その結果、3DCAD ソフト Rhinoceros と Grasshopper を用いることで立体漉きの型製作工程を簡略化できることが確認された。また、AI の活用については、生成された製品デザイン画像は現段階では実現性の乏しいケースが多くみられたものの、調査やアイデアの創出には有効であることがわかった。最終的にこれらの手法を用いることで、少ロットでの商品生産においては本研究の手法が適しており、県内の小規模事業者にとって有効性が高いことが確認された。

山梨県産主要醸造用ブドウの収穫時期がワイン品質に及ぼす影響 (R6～R7)

小松正和・佐藤憲亮・木村英生 (ワイン技術部) ・恩田匠 (材料・燃料電池技術部)

山梨県産主要醸造用ブドウである甲州及びマスカット・ベリーA を対象に、収穫時期の違いがワイン品質に及ぼす影響を検討した。同一圃場で収穫時期を段階的に変えてブドウを収穫し、白ワイン及び赤ワインを製造して成分分析および官能評価を行った。その結果、収穫時期により、ワインの酸味や色調に影響を及ぼすことが確認された。また、セニエや補酸により、品質の調整が可能であることが確認された。

CNF複合樹脂の物性評価と射出成形手法の確立 (R6～R7)

勝又信行・渡邊慧輔 (機械電子科) ・寺澤章裕・望月陽介 (素材科) ・小宮山裕仁 (機械電子科) ・高尾清利 (素材科) ・古屋雅章 (製品開発科) ・芦澤里樹 (化学・燃料電池科)

パリ協定の目標である世界の平均気温上昇を産業革命前より 1.5 °C 抑えるためには、2050 年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロ (カーボンニュートラル) にする必要がある。中小企業もカーボンニュートラルに取り組むことが期待されているが、経済的・人材的・情報面の課題から具体的な対応が難しい状況である。そこで本研究では県内プラスチック企業へのカーボンニュートラルへの取り組みの指標の一つとして、セルロースナノファイバー (CNF) 複合樹脂を用いた射出成形技術の確立・普及を目的に検討した。その結果、CNF を添加したポリプロピレンの流動性は、CNF の添加量の増加とともに低下した。また、CNF を添加したポリプロピレンの引張強さを低温と高温環境下で測定したところ、引張強さと弾性率は、低温では高く、高温では低下した。さらに、県産スギ由来の CNF を用いた PP の射出成形を試みたところ、色調の均一な成形品を成形できた。

ジュエリー加工における宝石の取り扱い指針に関する研究 (R7～R8)

佐藤貴裕・小松利安・佐野照雄・林善永 (研磨・宝飾科) ・宮川和博 (食品酒類・研磨宝飾技術部) ・笠原茂樹・小泉一人 ((一社) 宝石貴金属協会) ・柳本力 (協同組合山梨県ジュエリー協会)

本研究では、ジュエリーの製作工程における熱・衝撃・温度変化・超音波といった外的要因が宝石の破損に与える影響を、定量的に評価するための試験方法を検討し、代表的な宝石について評価を行った。今年度は、劈開性の強いフローライトをモデル試料として温度変化試験および超音波試験を検討した。試験前後の画像比較の結

果、急激な温度変化によりクラックの発生や伸張が確認された一方、適切な超音波条件では超音波が宝石の破損に与える影響は小さいことが示唆された。また、試料体積が破損温度に与える影響について検討した。

新規めっき加工技術に関する研究 (R7～R8)

宮澤航平・芦澤里樹・上垣良信（化学・燃料電池科）・花形保

めっき加工におけるセルロースナノファイバー（CNF）添加の効果およびその最適な加工条件の確立を目的とした実証試験を行った。CNF添加量の異なるめっき浴を作製して、銅板に異なる電流密度条件下でめっきを施し、その成膜状態を評価した。本試験ではCNFの比較対象物として、カルボキシメチルセルロース（CMC）を供試した。その結果、CNFおよびCMC添加は、いずれもめっき膜に光沢を付与することが分かった。一方で、CMC添加においては、めっき膜にクラックが生じる傾向が認められたことから、CNF添加の方がより有用であると考えられた。なお、このCNF添加においては、一定以上のCNF量が必要とされること、またその添加量に応じた電流密度での処理が重要であることが確認された。

輸送環境を考慮した積み重ね振動試験方法に関する研究 一車両による振動の違いと積み重ね振動測定一 (R7～R8)

坂本智明・早川亮・河西伸一・岩間貴司・長田和真（機械技術部）

大型トラックなどでパレット上に積み重ねて輸送する場合を想定した包装貨物の振動試験が行われる際には、積み重ね輸送を想定した振動試験が求められる。今回、トラックと貨物自動車走行中の高速道路や一般道などで得た走行データを解析し、車両による振動の違いと積み重ね時の包装貨物の振動分析を行ったところ、トラックと小型貨物自動車において加速度パワースペクトル密度（PSD）分布は基本的な傾向は同じであるが、ピークの周波数位置は車両によって違うことが分かった。また、上下方向の振動が前後・左右に比べて大きく、荷物を積み重ねた時に生じるピークも荷物の上段や下段の位置により異なることが確認された。

県産材料による新規草木染め技術を活用した高付加価値繊維製品の試作 (R7～R8)

三井由香里・望月威夫・金丸勝彦（製品開発科）・増田貴史（山梨県立大学）

染色工程において、SDGsの観点から課題が多い化学染料と比較して、期待が高まっている草木染めであるが、環境負荷は決して少なくはなく、また耐光堅ろう度が低く実用性に乏しいと言われている。

一方、共同研究者である山梨県立大学の増田貴史教授らが開発した「新規草木染め技術」は低環境負荷であるうえ、効率のかつ染色性能にも優れる画期的な技術であり、すでに桜や柿などの植物を染色材料（染材）として活用した製品が一部実用化されているところである。

本研究では、「新規草木染め技術」を初めて山梨県産の染材に適用して、その染色性能を確認し、本県繊維産業のブランド力強化を実現する製品開発への活用に向け検討を行った。

促進耐光性試験によるポリスチレンの紫外線劣化に関する研究 (R7～R9)

望月陽介・寺澤章裕（素材料科）・勝又信行・渡邊慧輔・小宮山裕仁（機械電子科）・高尾清利（素材料科）・尾形正岐（企画・情報科）・樋泉光紀（㈱清水製作所）

樹脂の耐光性評価において高い促進倍率が期待できるメタルハライドランプ式耐光性試験機を用いて、汎用ポリスチレン（GPPS）および発泡ポリスチレン（PS）の促進耐光性試験を行い、変色や劣化について屋外暴露試験との比較を行った。色の変化については、いずれの試料においても促進耐光性試験と屋外暴露試験で近い挙動を示したが、同じ紫外線量において屋外暴露試験よりも促進耐光性試験の方が、変化量が大きかった。強度試験については、引張試験では屋外暴露試験での強度低下に比べ促進耐光性試験での低下率が小さかったが、三点曲げ試験ではGPPSおよび発泡PS（バージン材）において促進耐光性試験での強度低下が屋外暴露試験と同程度であった。

各種分析機器を用いた複合樹脂の分散性評価手法の確立に関する研究 (R7～R8)

渡邊慧輔・勝又信行・小宮山裕仁（機械電子科）・寺澤章裕・望月陽介・高尾清利（素材料科）

樹脂内部のフィラー分散を評価するため、顕微付赤外分光光度計を用いた全反射測定法（以下、ATR法）による樹脂表面のマッピング画像作成による分散性評価および超音波映像装置による水平方向の反射超音波強度画像（以下、SAT像）に基づく分散性評価を実施した。その結果、ATR法では、フィラーの偏った部分にその成分由来

の赤外吸収ピークが強く表れることから、微小範囲のフィラー分散の程度を評価することができた。また、SAT 像ではマクロな範囲でのフィラー分散を確認することができた。

④競争的資金研究

水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業／燃料電池・水電解の共通基盤技術開発（PEFC プラットフォーム分野）／電気化学的特性測定（R7～R11）

三神武文・加賀爪広・穴水弘一・塩原敦（化学・燃料電池科）・恩田匠（材料・燃料電池技術部）・八代浩二（甲府技術支援センター）・技術研究組合 FC-Cubic

本研究は、NEDO「水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業」の一環として実施している。本事業では、令和 7 年度から 11 年度までの 5 年間にわたり、燃料電池および水電解に関する基盤技術の開発を行う。その中で当センターは、「PEFC 評価解析プラットフォーム」の一員として、事業内で開発された燃料電池向け新規材料の電気化学的特性評価を担当している。

令和 7 年度には、計 4 グループが開発した 15 種類の新規材料を評価した。さらに、比較用の市販材料を含め、約 100 点の MEA について評価を実施した。これらの評価結果を基に、開発材料の課題抽出および改良指針の提案を行い、材料開発に貢献した。

2. 産業財産権の取得状況

(1) 産業財産権（県単独）

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者
特許	5948551 (H28/6/17)	2014-022852 (H26/2/7)	装身具用合金	宮川和博 有泉直子 望月陽介 鈴木文晃 清水 進
	6711983 (R2/6/2)	2015-232550 (H27/11/29)	光電界センサおよび電磁界計測装置	木島一広 萩原 茂 河西伸一 河野 裕 阿部 治 清水章良 中村 卓 堀 裕和 鳥養映子
	6716808 (R2/6/15)	2017-055305 (H29/3/22)	表示具と果実の生産方法	佐藤博紀 萩原栄揮 池田博彦 富田 晃
	6792108 (R2/11/10)	2019-569988 (H31/4/23)	光吸収発熱保温用複合体とその製造方法	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一朗
	6823824 (R3/1/14)	2016-171295 (H28/9/1)	マイクロ流体デバイス	山田博之 西村通喜 長田和真 阿部 治 尾形正岐 高尾清利
	6980238 (R3/11/19)	2020-88529 (H31/4/23)	光吸収発熱保温用複合体	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一朗
	7309143 (R5/7/7)	2019-057867 (H31/3/26)	ワックス模型の作製方法	林 善永 神藤典一 宮川和博 小松利安 有泉直子
	7345773 (R5/9/8)	2019-057866 (H31/3/26)	ワックス模型及びその作製方法	林 善永 神藤典一 宮川和博 小松利安 有泉直子
	7553017 (R6/9/9)	2020-176430 (R2/10/21)	手術器具	山田博之 阿部 治 西村通喜 高尾清利

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者
特許	7629596 (R7/2/5)	2021-006211 (R3/1/19)	磁気バレル研磨方法	林 善永 宮川和博 小松利安 有泉直子 平晋一郎
実用 新案	3249878 (R7/1/9)	2024-3847 (R6/11/20)	ガス灯システム	八代浩二 佐野正明 宮川和幸 山田博之 阿部治 鈴木大介 深澤郷平 西村通喜
商標	5421791 (H23/7/1)	2011-001192 (H23/1/12)		五十嵐哲也 上垣良信
	6138451 (H31/4/19)	2018-165529 (H30/12/21)	URUSHINASHIKA	串田賢一
	6138452 (H31/4/19)	2018-165530 (H30/12/21)		串田賢一
	6278668 (R2/8/11)	2019-108323 (R1/7/25)		佐藤博紀
意匠	1578913 (H29/5/19)	2013-023371 (H25/10/4)	塗り絵用紙	串田賢一
	1799364 (R7/5/15)	2024-023648 (R6/11/15)	鍋	串田賢一 大沼 敦

(2) 産業財産権（共同出願）

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者	共有権者
特許	6152520 (H29/6/9)	2014-094992 (H26/5/2)	ジャカード織物パターンの生成方法、装置およびプログラム	五十嵐哲也 秋本梨恵	山梨大学
	6302696 (H30/3/9)	2014-025174 (H26/2/13)	マグネシウム合金の表面処理方法	八代浩二 佐野正明 三井由香里 坂本智明	権田金属工業(株)
	6306437 (H30/3/16)	2014-113615 (H26/5/31)	縦型成膜装置	萩原 茂 河野 裕 早川 亮 星野昌子	山梨大学 (株)中家製作所
	6746830 (R2/8/11)	2016-15779 (H28/1/29)	ジャカード織物多色織パターン生成方法、装置およびプログラム	五十嵐哲也	山梨大学
	7085731 (R4/6/9)	2018-042581 (H30/3/9)	発酵ゆば食品	小松正和 木村英生 佐藤憲亮	望月五夫
	7228139 (R5/2/15)	2019-86340 (H31/4/26)	白色革の製造方法	串田賢一 渡辺 誠	(有)レオン・インター ナショナル
	7399410 (R5/12/8)	2020-012516 (R2/1/29)	硬化性樹脂組成物、硬化体、セルロースナノファイバー材料、及びセルロースナノファイバー材料の製造方法	芦澤里樹	山梨大学
	7626984 (R7/1/28)	2020-173626 (R2/10/14)	耐水紙の製造方法および耐水紙	芦澤里樹	(有)山十製紙 身延町

(3) 産業財産権（海外特許）

種別	登録番号 (登録日)	登録国	名称	発明者	共有権者
特許	US7744965B2 (H22/6/29)	米国	酸化亜鉛薄膜の製造方法及び製造装置	今津千竹 萩原 茂 木島一広 阿部 治	山梨大学 (株)中家製作所

(4) 産業財産権出願中（県単独）

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者
特許	2023-042428 (R5/3/16)	2024-131900 (R6/9/30)	パンの製造方法、生地 of 製造方法、小麦粉焼成物の製造方法およびパン	樋口かよ 橋本卓也 長沼孝多 有泉直子 芦澤里樹
	2024-037447 (R6/3/11)	2025-138389 (R7/9/25)	C N F を含有するめっき層を形成するめっき装置とめっき方法	宮澤航平 芦澤里樹 上垣良信 花形 保
	2026-035721 (R8/3/6)	-	(公開まで名称非公表)	芦澤里樹 佐藤博紀

(5) 産業財産権出願中（共同出願）

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者	共有権者
特許	2022-079503 (R4/5/13)	2023-167941 (R5/11/24)	伸線加工方法及び鋼線	長田和真 石田正文 鈴木大介 阿部 治 佐野正明 深澤郷平	(株)降矢技研
	2022-133714 (R4/8/25)	2024-030672 (R6/3/7)	マグネシウム合金の表面改質方法	八代浩二 佐野正明 三井由香里 鈴木大介	(株)グローバルマグネシウムコーポレーション
	2026-003189 (R8/1/13)	-	(公開まで名称非公表)	芦澤里樹	(公開まで非公表)

(6) 産業財産権出願中（海外特許）

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者	共有権者
特許	PCT/JP2024/ 004133 (R6/2/7)	WO/2024/ 190195 (R6/9/19)	磁歪部材及び磁歪部材の製造方法	望月陽介 八代浩二	住友金属鉱山(株)

3. 課題対応受託研究

企業が新技術・新製品の研究開発等を行う際に、実施が困難な課題について、専門知識を持つ職員が、センターの所有する設備や機器を利用し当該課題解決のために研究を行った。

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	0	0	1	1	0	1	0	1	4

4. 業績発表

(1) 口頭発表(学会等)

題名	発表者氏名(所属)	発表学会名	会場	期日
AI によるインクルージョンの自動判別の可能性(第2報)	佐藤貴裕(研磨・宝飾科)・中村卓(電子応用科)・宮川和博(食品酒類・研磨宝飾技術部)・佐野照雄(研磨・宝飾科)・笠原茂樹・小泉一人(宝石貴金属協会)・古屋正貴(日独宝石研究所)・高橋泰(山梨県立宝石美術専門学校)	宝石学会(日本)2025年講演会	岩手大学	R7/6/14~15
ピーニング加工したマグネシウム合金の残留応力形成挙動(第3報)	鈴木大介・宮澤航平(材料・燃料電池技術部)・佐野正明(管理・連携推進部)・三井由香里(繊維技術部)・西野創一郎(茨城大学大学院)	日本材料学会 第59回X線材料強度に関するシンポジウム	名城大学天白キャンパス	R7/7/24~25
地理的表示とワイン産地形成	恩田匠(化学・燃料電池技術部)	(一社)日本食品保蔵学会創立50周年記念シンポジウム	東京農業大学世田谷キャンパス	R7/9/16
水素・燃料電池システムによる電動アシスト自転車評価の為に振動解析	坂本智明(機械技術部)・小松利安(研磨・宝飾科)・岩間貴司(機械技術部)・佐藤幸徳・雨宮章悟・平川文洋・金子洸三・秋山誠(日邦プレジジョン(株))	日本機械学会 第38回計算力学講演会	信州大学工学部	R7/9/24~27
仕込み時のセニエが「マスカット・ベリーA」のワイン品質に及ぼす影響	小松正和・佐藤憲亮・木村英生(ワイン技術部)	日本ブドウ・ワイン学会(ASEV JAPAN)2025甲府大会	シャトレーゼホテル談露館	R7/11/7~8

(2) 口頭発表(その他)

題名	発表者氏名(所属)	発表会議名	会場	期日
磁歪式振動発電に関する研究	望月陽介(素材料)	山梨科学アカデミー創立 30 周年 山梨総合理工学研究機構創立 20 周年記念式典	ベルクラシック 甲府	R7/5/30
林業用運搬重機フォワードの自動運転システム開発の試み	保坂響(システム開発科)	第 21 回地域交流ワークショップ	やまぎん県民ホール	R7/6/4
Textile beside Mt.Fuji / Design of local textile production; History, Present and Future (富士山のふもとの織物——地域 繊維産業のデザイン：歴史・現在・そして未来)	五十嵐哲也(繊維技術部)	The Designer in Residence Program Under Reinvented Roots, Resilient Futures Project, 2025	タイ チェンマイ、ウドンタニー	R7/6/6、9
甲州オレンジワインについて	小松正和(ワイン技術部)	令和 7 年度(一社)葡萄酒技術研究会前期講演会	シャトレーゼホテル談露館	R7/6/12
オレンジワイン醸造とポリフェノール	小松正和(ワイン技術部)	(公財)日本醸造協会 第 41 回ワインセミナー	赤煉瓦酒造工場	R7/7/15
本産ブドウの特徴を活かしたビン内二次発酵法によるスパークリングワインの開発	恩田匠(材料・燃料電池技術部)	山梨県食品技術研究会 創立 40 周年記念講演	ベルクラシック 甲府	R7/8/1
スパークリングワイン原料果汁の調製について	恩田匠(材料・燃料電池技術部)	第 66 回(令和 7 年度)果汁技術研究発表会	渋谷区文化総合センター	R7/9/12
人工知能の産業利用における少量データによる容易に構築可能な人工知能技術の研究	中村卓(電子応用科)	(国研)産業技術総合研究所令和 7 年度第 2 回地域連携担当者会議	オンライン	R7/9/16
製品に受ける耐振動性能の評価方法について	坂本智明(機械技術部)	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第 18 回音・振動研究会	東京都立産業技術研究センター	R7/10/16～17
AI 検査に適した検査環境構築に関する研究	浅川拓也(システム開発科)	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 情報通信研究会	兵庫県工業技術センター	R7/10/9～10
富士山脚下的雄心：凝聚在地産業編織軟實力出海的揚帆 (富士山麓の野心：地域産業が結集しソフトパワーを海外に広げる船出)	五十嵐哲也(繊維技術部)	2025 Meet Pacific(花蓮創新創業嘉年華)	台湾 花蓮県	R7/10/25
マグネシウムの耐食性皮膜に関する研究及び新規めっき加工技術に関する研究	宮澤航平(化学・燃料電池科)	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会第 31 回表面技術分科会	新都心ビジネス交流プラザ	R7/11/27～28

題名	発表者氏名(所属)	発表会議名	会場	期日
デジタルジャカード技術を応用したテキスタイル開発	秋本梨恵(技術支援科)	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会デザイン研究会	丹後・知恵ものづくりパーク 京都府織物・機械金属振興センター	R7/12/4～5
水酸化皮膜処理によるマグネシウム合金の耐食性向上技術について	鈴木大介(工業材料科)・佐野正明(管理・連携推進センター)	(一社)表面技術協会めつき部会 12 月例会	オンライン	R7/12/10
山梨県産業技術センターの業務と軟 X 線発光分析	石田正文(工業材料科)	第 8 回 SXES スクール	中日ホール&カンファレンス	R8/1/16
研究成果の普及に関する取り組み	清水章良(企画・情報科)	第 66 回産業技術連携推進会議 総会	日比谷国際ビル コンファレンススクエア	R8/1/19

(3) ポスター発表(学会等)

題名	発表者氏名(所属)	発表学会・会議名	会場	期日
金属 3D プリントで造形したボラス金属の CT 装置による内部空隙評価	望月陽介(素材料)	(一社)日本計量機器工業連合会「ポスターセッション・技術セミナー・工場見学会」 ー民間企業の稼ぐ力を計測が後押しする生産工場ー	株式会社ミットヨ呉工場	R7/7/17～18
小麦ふすまに含まれる遊離アミノ酸が製パンに及ぼす影響	樋口かよ(食品酒類・バイオ科)	農研機構食品研究成果展示会2025	つくば国際会議場	R7/11/5
AI を用いた山梨らしさ評価手法	中村卓(電子応用科)・串田賢一(デザイン技術部)・秋本梨恵(繊維技術部)・佐藤博紀(デザイン技術部)・郷健太郎(山梨大学)・木下雄一郎(芝浦工業大学)・野里博和・宮田なつき(産業技術総合研究所)	(公社)精密工学会 画像応用技術専門委員会 ViEW2025 ビジョン技術の実利用ワークショップ	パシフィコ横浜	R7/12/4～5
林業用重機フォワーダの自動運転に向けた 3 次元点群地図作成と自己位置推定手法の適用と評価 整地舗装路における自動運転システムの走行精度評価	保坂響・浅川拓也(システム開発科)・布施嘉裕(企画・情報科)・中村卓(電子応用科)・小澤雅之・大地純平(山梨県森林総合研究所)・古屋五嗣・小幡俊郎(古屋製材(株))	(公社)精密工学会 画像応用技術専門委員会 ViEW2025 ビジョン技術の実利用ワークショップ	パシフィコ横浜	R7/12/4～5
山梨県産小麦“ゆめかおり”の生産年度による品質評価と製パン試験	樋口かよ・橋本卓也(食品酒類・バイオ科)・長沼孝多(総合相談・連携推進科)	(公社)日本食品科学工学会関東支部大会	東京農業大学世田谷キャンパス	R8/3/7

(4) 学会誌等掲載

題名	掲載者氏名(所属)	誌名	掲載巻・ページ
日本のワイン産業の発展に伴う山梨県の現状と役割	恩田匠(材料・燃料電池技術部)	日本食品保蔵科学会誌	Vol. 51(5), pp.165-170
A nonlethal and scalable bird deterrent: field validation of 15-Hz red flickering light across multiple species	本田剛(総合農業技術センター)・富永裕輝・小西啓史(電子応用科)	European Journal of Wildlife Research	Volume 72, article number 24(2026)

(5) 専門誌等掲載

題名	掲載者氏名(所属)	誌名	掲載巻・ページ
郡内織物とともに 120 年：山梨県産業技術センター	五十嵐哲也(繊維技術部)	繊維学会誌	81 巻 8 号 pp.P-346 - P-347 (2025)
小麦ふすまに含まれる遊離アミノ酸が製パンに及ぼす影響	樋口かよ・橋本卓也(食品酒類・バイオ科)・長沼孝多(総合相談・連携推進科)	食品の試験と研究	第 60 号, p. 52 (2026)
山梨県における日本酒製造用の麴の品質向上に関する技術普及	長沼孝多(総合相談・連携推進科)	食品の試験と研究	第 60 号, p. 70 (2026)

人材育成業務

1. 出前技術講座

(1) 講座一覧

※受講者数内 () は、うちオンライン受講者数

	講座	実施日	担当	受講者数
1	金属材料の機械試験について	R7/5/21	工業材料科	6
2	地域しごと概論（経営マインド）－Koshu INDEN－	R7/5/30	デザイン技術部	15
3	郡内織物とハタオリマチの物語－「名前」と「遊び」から考える未来	R7/5/30	繊維技術部	130 (70)
4	Textile beside Mt. Fuji (Design of local textile production; History, Present and Future)	R7/6/6	繊維技術部	23
5	Textile beside Mt. Fuji (Design of local textile production; History, Present and Future)	R7/6/9	繊維技術部	28
6	甲州オレンジワインについて	R7/6/12	ワイン技術部	100
7	やまなしの食 甲州産ワインの歴史と特性	R7/6/17	ワイン技術部	32
8	AI による画像識別	R7/6/24	システム開発科	10
9	URUSHINASHIKA -Koshu INDEN-	R7/7/7	デザイン技術部	6
10	郡内織物とハタオリマチの物語－「名前」と「遊び」から考える未来	R7/7/17	繊維技術部	26
11	郡内織物の歴史と現在の取り組みについて Introduction of Yamanashi Textiles	R7/7/30	繊維技術部	14 (14)
12	機械電子関係の研究紹介	R7/7/30	機械電子技術部	21
13	タイ 渡航報告会	R7/8/22	繊維技術部	17
14	郡内織物の歴史とブランディング	R7/8/25	繊維技術部	37
15	郡内織物とハタオリマチの物語	R7/8/27	繊維技術部	17
16	山梨ハタオリ産地の歴史とブランディング活動	R7/9/29	繊維技術部	30
17	製品検査工程の FA 化に向けたシステム開発の実践「PC-PLC 間の汎用的な通信方法について」	R7/10/1	システム開発科	5

	講座	実施日	担当	受講者数
18	郡内織物産地の歴史と現在について	R7/10/7	繊維技術部	30
19	郡内織物とハタオリマチの物語	R7/10/9	繊維技術部	30
20	富士山脚下的雄心： 凝聚在地産業編織軟實力出海的揚帆	R7/10/25	繊維技術部	35
21	AI による画像識別技術の検査工程への適用「開発環境の構築」	R7/11/7	システム開発科	5
22	産業技術センターで実施している研究について	R7/11/14	食品酒類・パイオ科	21
23	AI による画像識別技術の検査工程への適用「データセットの構築、既存モデルを用いた推論」	R7/11/19	システム開発科	5
24	宝飾関連研究成果とセンター関連業務の紹介	R7/11/21	食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨・宝飾科	11
25	パラメトリックデザインの宝飾デザインへの活用について	R7/11/21	デザイン技術部	11
26	AI による画像識別技術の検査工程への適用「転移学習、学習・推論パラメータの説明」	R7/11/21	システム開発科	5
27	日本ワイン学	R7/11/25	ワイン技術部	20
28	AI による画像識別技術の検査工程への適用「学習モデルの調整、転移学習モデルを使用した推論」	R7/11/27	システム開発科	5
29	AI による画像識別技術の検査工程への適用「実製品を用いた一連の手順による実践まとめ」	R7/12/2	システム開発科	5
30	伝統産業のリデザイン	R7/12/12	繊維技術部	19
31	新規分散めっきに関する研究	R7/12/18	化学・燃料電池科	13
32	製品検査工程の FA 化に向けたシステム開発の実践「USB⇄GPIO 変換モジュールの使い方」	R8/1/6	システム開発科	4
33	郡内織物産地の歴史とブランディング活動	R8/1/9	繊維技術部	25
34	郡内織物産地の歴史と現在について	R8/1/9	繊維技術部	185
35	製品検査工程の FA 化に向けたシステム開発の実践「フォトカプラを用いた GPIO 信号の PLC への接続方法」	R8/1/14	システム開発科	4
36	醸造現場におけるワインアロマ ～欠陥臭と特徴香～	R8/2/25	ワイン技術部	61

※) 派遣先企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

(2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (講座数)	-	32 (2講座)	48 (9講座)	19 (2講座)	0 (0講座)	32 (3講座)	213 (4講座)	646 (15講座)	21 (1講座)	1,011 (36講座)

2. ものづくり人材育成研修

(1) 講座一覧

講座名		講師	担当	実施日	受講者数
1	ノギス・マイクロメータの基礎	センター職員	機械技術部	R7/7/29	11
2	3D プリンタの種類と選び方	センター職員	デザイン技術部	R7/8/20	10
3	フルカラー3D プリンタの活用について	アルテック (株)	デザイン技術部	R7/8/27	7
4	3D スキャナ体験・活用セミナー	東京貿易 (株)	デザイン技術部	R7/9/3	3
5	表面粗さ測定 of 基礎	(株) 小坂研究所	機械技術部	R7/9/4	2
6	レーザー加工機体験・活用セミナー	センター職員	デザイン技術部	R7/9/10	1
7	テキスタイル製品の企画	客員研究員	繊維技術部	R7/9/18	10
8	エックス線 CT 検査装置の撮影条件について	センター職員	機械電子技術部	R7/9/30	10
9	蛍光 X 線を用いた分析について	アメテック (株)	研磨・宝飾科	R7/10/9	4
10	LTSpice の基礎と EMC 対策シミュレーション	ウルト・エレクトロ ニクス・ジャパン (株)	電子応用科	R7/10/9	3
11	XPS 分析の基礎	日本エフイー・アイ (株)	工業材料科	R7/11/6	4
12	サンプル織機の体験・活用セミナー	センター職員	繊維技術部	R7/11/12	1
13	金属の電解研磨と化学研磨法の極意	表面処理研究会	化学・燃料電池科	R7/11/25	13

※) 講師名は、個人情報につき表示しておりません。(以降同様)

(2) 担当別実績

部	企画連携推進部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
人数 (講座数)	-	4 (1講座)	3 (1講座)	17 (2講座)	13 (2講座)	21 (4講座)	-	11 (2講座)	10 (1講座)	79 (13講座)

3. 講習会・研修会

(1) 講座一覧

企画連携推進部

※受講者数内 () は、うちオンライン受講者数

講座名	講師	実施日	受講者数
グリーントランスフォーメーション (GX) 施策勉強会	経済産業省 関東経済産業局	R7/5/27	32
GX 実現に向けた国の取組について	経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進課	R7/12/11	33 (28)

食品酒類・研磨宝飾技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
食品酒類・パイオ科	菓子講習会 (Ⅰ)	(株)増田製粉	R7/6/25	26
	菓子講習会 (Ⅱ)	(株)館山	R7/7/8	22
	学校給食パン講習会	(株)KO 堂 学校給食パン協同組合関係者	R7/7/28	25
	和菓子講習会	専修学校 日本菓子専門学校	R7/8/29	18
	製パン技術講習会 (Ⅰ)	月島食品工業(株)	R7/9/12	22
	食品開発講習会 ① 食品工場における省エネ空調及び廃熱利用による乾燥システムのご紹介 ② いつみ家の取り組み ～豚レバーを極める！～ ③ 商品開発の新たな挑戦～もっと笑顔、もっと驚きを目指して～	① 高砂熱学工業(株) ② (株)いつみ家 ③ 安曇野食品工房(株)	R7/10/29	36
	製パン技術講習会 (Ⅱ)	三菱商事ライフサイエンス(株)	R7/11/28	19
	食品技術講習会 ① 山梨県の水道の現状 ② 飲料水・食品の有機フッ素化合物(PFAS)の規制動向と分析法	① 山梨県福祉保健部衛生薬務課 ② (一財)日本食品分析センター 多摩研究所	R8/3/9	38

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
研磨・宝飾科	技能伝承に活かせる動画作成のポイント - これからの時代にあった教育・訓練とは一体何か? -	(株)ロンド・アプリウェアサービス	R7/9/30	20
	やさしいバレル研磨の手引き	(株)チップトン	R7/11/19	29

電子・システム技術部

※受講者数内 () は、うちオンライン受講者数

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
電子応用科	電子応用技術セミナーⅠ「詳しく解説! 静電気試験 ～新しい規格と適切な試験方法について～」	(株)ノイズ研究所	R7/9/11	30
	ChatGPT で出来ること	アドバンステクノロジー(株)	R8/3/10	59
システム開発科	GX 推進により変革する機械電子産業の展望と課題	(一社) 日本電機工業会	R7/12/11	33 (28)
	AI 外観検査を活用しよう	山梨大学	R8/3/10	84

材料・燃料電池技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
工業材料科	材料技術講習会「XPS の測定原理・測定方法」	日本エフイー・アイ(株)	R7/11/6	18
	材料技術講習会「産業洗浄の基礎と相談事例」	(同)HOKUSHI コンサルティング	R8/3/3	45
化学・燃料電池科	プラスチック技術講習会「射出成形の成形特性と不良発生機構および防止対策」	本間技術士事務所	R7/12/15	20
	表面技術講習会 ～防湿防錆包装講座～	日本化工機材(株)	R8/1/30	30

機械技術部

※受講者数内 () は、うちオンライン受講者数

講座名	講師	実施日	受講者数
(公財)JKA 公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業 落下衝撃試験セミナー「包装貨物の落下試験と小型製品の衝撃試験について」	神栄テクノロジー(株)	R7/12/17	38 (16)
機械技術講習会「幾何公差入門」	QVI ジャパン(株)	R8/1/27	46

デザイン技術部

※受講者数内（ ）は、うちオンライン参加者数

講座名	講師	実施日	受講者数
トレンド・情報技術講習会「最新トレンド情報セミナー」	客員研究員	R7/6/10	22
セルロース技術講習会「広告・販促で磨く選ばれる商品 ～選ばれる商品をつくる発想と伝え方～」	クリエイティブエージェンシー 高橋屋	R7/12/3	5
デザイン技術講習会Ⅰ「AI時代が変える消費者の検索行動」	(株)LANY	R8/2/6	16
デザイン技術講習会Ⅱ「デザイン×AI～生成AIとデザイナーの現在点～」	(株)WD	R8/2/24	30 (22)

ワイン技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
山梨県ワイン鑑評会	センター職員ほか	R7/4/9	68
研究ワインの官能評価会Ⅰ	センター職員	R7/6/20	47
研究ワインの官能評価会Ⅱ	センター職員	R7/6/20	49
亜硫酸管理技術講習会	センター職員	R7/6/30	30

繊維技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
製品開発科	繊維技術講習会「新規導入装置のご紹介～商品開発に向けた有効活用方法～」	TMT 神津(株) センター職員	R8/3/3	13

機械電子技術部

※受講者数内（ ）は、うちオンライン受講者数

講座名	講師	実施日	受講者数
機器利用促進講習会「ワイヤ放電加工の基礎 - 加工液の違い（水と油）～」	三菱電機メカトロニクスエンジニアリング(株)	R7/10/8	5
DX技術講習会「現場で学ぶIoTの基礎リテラシー ～スクーミーを活用したDX実証フィールドについて～」	(株)スクーミー	R7/11/11	13 (10)
セルフケア実装研究センターが取り組む人口減少・少子高齢化対策	(国研)産業技術総合研究所 研究戦略本部 セルフケア実装研究センター	R7/12/12	10
簡易検査キットから個別化医療へ ― スマートELISAによるモバイル・在宅・プライマリーケア診断への展開	(国研)産業技術総合研究所 四国センター 健康医工学研究部門 バイオセンシング研究グループ	R7/12/12	10

講座名	講師	実施日	受講者数
(公財) JKA 公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業 プラスチック射出成形機 技術講習会	ファナック(株)	R8/1/14	20

(2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (講座数)	65 (2講座)	255 (10講座)	206 (4講座)	113 (4講座)	84 (2講座)	73 (4講座)	194 (4講座)	13 (1講座)	58 (5講座)	1,061 (36講座)

4. 技術者研修

(1) テーマ一覧

研修テーマ		研修期間	受講者数	受入担当
1	宝飾加工、貴金属加工に関する全加工工程の実習	R7/5/1～10/31 (51 日間)	1	研磨・宝飾科
2	織物基礎及び設計	R7/5/20～7/10 (16 日間)	15	繊維技術部
3	Illustrator 研修	R7/6/17、18、23、24 (4 日間)	3	デザイン技術部
4	Rhinoceros の技術習得	R7/6/25、26、7/2、4 (4 日間)	1	デザイン技術部
5	(テーマ名非公開)	R7/7/1～12/31 (11 日間)	1	化学・燃料電池科
6	Rhinoceros を使ったジュエリー制作技術の習得	R7/9/9、18、10/3、22、12/9 (5 日間)	1	デザイン技術部
7	Solidworks の基本操作習得	R7/12/10、11、15、16 (4 日間)	2	デザイン技術部

※) 派遣元企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

(2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (件数)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	7 (4)	0 (0)	15 (1)	0 (0)	24 (7)

5. 郡内織物ライフプロダクト開発支援事業

県内テキスタイルDX研修

県内の機屋、デザイナー、縫製業者などものづくりに係る事業者を対象として、デジタルツールを活用したものづくりの研修を実施し、業務の効率化及びスキルアップを図るとともに業種を超えたネットワークの構築を図った。

繊維技術部

※受講者数内（ ）は、うちオンライン受講者数

テーマ	講師	期日	会場	受講者数
奄美と富士吉田をつなぐ	(有) 金井工芸	R7/8/22	富士吉田商工会議所	16
機屋さんのためのオンラインショップ成長戦略セミナー	(株) トリッキー 中小企業診断士／ SEO 専門家	R7/10/3	富士吉田商工会議所	18
現場で学ぶIoTの基礎リテラシー ～スクーミーを活用したDX実証フィールドについて～	(株) スクーミー	R7/11/11	富士技術支援センター	13 (10)
産地とデザインのこれからをつなぐ	ピームスジャパン 東京造形大学 テキスタイルデザイナー イラストレーター・デザイナー	R8/2/14	FUJIIHIMURO	25
織物企業のためのAI活用セミナー	山梨大学	R8/3/10	富士技術支援センター	9

6. その他

高等学校課題研究サポート

県立吉田高等学校が実施する、同校理数科生徒を対象とした課題研究をサポートした。

○テーマ：機能性試験（はっ水性試験）の新規評価手法の確立

○実施日：令和7年5月21日、7月16日、7月23日

○参加人数：3名

情報提供業務

1. 研究成果発表

(1) 産業技術センター研究成果発表会（ハイブリッド配信）

- ・開催日：令和7年7月1日
- ・発表：26テーマ（口頭14、ポスター26）
- ・特別講演

「医療分野への挑戦 ～世界を見据えたグローバルな企業を目指して～」

山陽精工株式会社 代表取締役社長 白川 太 氏

「甲斐絹の伝統と新たな発展」

株式会社前田源商店 代表取締役 前田 市郎 氏

(2) やまなし産学官連携研究交流事業

- ・開催日：令和7年10月21日
- ・会場：山梨県立図書館
- ・動画配信：令和7年10月22日～令和8年3月31日
- ・発表：17テーマ（口頭1、ポスター9、動画配信7）

2. 展示会への出展

(1) ふじのくにセルロース循環経済国際展示会

- ・開催日：令和7年10月16日～17日
- ・会場：富士市産業交流展示場「ふじさんめっせ」

(2) 2025年度グッドデザイン賞受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2025」

- ・開催日：令和7年11月1日～5日
- ・会場：東京ミッドタウン

(3) 山梨テクノICTメッセ2025

- ・開催日：令和7年11月14日～15日
- ・会場：アイメッセ山梨

(4) 第25回H2&FC EXPO 国際水素・燃料電池展

- ・開催日：令和8年3月17日～19日
- ・会場：東京ビッグサイト

3. 刊行物の発行

(1) 年報（令和6年度）

- ・発行日：令和7年7月30日
- ・発行部数：400部

(2) 研究報告（令和6年度 第8号）

- ・発行日：令和7年10月1日
- ・発行部数：400部

(3) センターニュース

- ・発行部数：各1,500部

① センターニュースVol.25

- ・発行日：令和7年5月26日

- ② センターニュースVol. 26
・発行日：令和 8 年 1 月 14 日

- (4) デザイン情報紙 DESIGN YAMANASHI Vol. 68～73
ものづくりのアイデアの誘因を目的として、ポストカードの形式で情報紙を年間 6 回発行
・発行日：令和 7 年 5 月～令和 8 年 3 月
・発行部数：Vol. 68～72 1,600 部、Vol. 73 2,000 部

4. センターご利用ガイドの発行及びメールマガジンの配信

- (1) センターご利用ガイド：適宜発行
- (2) メールマガジン
・配信回数：50 回（No. 25-001～050）
・内容：講習会・研修会案内、設備機器紹介等

5. その他

- (1) ホームページによる情報提供
センターの研究や設備を紹介したプロポーザルページを作成：6 回
(<https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/>)
- (2) 甲斐絹ミュージアムホームページによる情報発信
郡内織物産地のルーツ、山梨県が誇る伝統織物『甲斐絹』を紹介
(<https://www.pref.yamanashi.jp/kaiki/>)
- (3) ブログ・フェイスブック「シケンジョテキ」による情報発信
富士技術支援センターに所蔵するビンテージテキスタイルをはじめ、産地企業の職人や技の魅力などを紹介
(ブログ <https://www.shikenjyo.blogspot.jp>)
(フェイスブック <https://www.facebook.com/シケンジョテキ-969866283101120>)
発信数：ブログ 6 回、フェイスブック 9 回

- (4) 公報・書籍・学会誌収集

区分	内容
書籍類	工学・デザイン専門誌（学会誌 4、協会誌 6、その他 17 合計 27 種〔購入・寄贈〕） 工学・デザイン専門書（購入 109 冊、寄贈 5 冊 合計 114 冊）
研究報告	国・大学・公設試（30 種）
各種情報	JIS、法規集（23 種）、新聞（16 種）、国・公設試ニュース、その他

- (5) YAMANASHI DESIGN ARCHIVEの運用
山梨県に伝わる過去の優れた物品の造形や模様、自然から得られる色彩、今に伝わる昔話・伝説を産業上で使用することのできるデザインソースとしてデジタル化して配信
(<https://design-archive.pref.yamanashi.jp/>)
・掲載デザインソース数 582 点
(内訳：形状 103 点／模様 321 点／色彩 148 点／昔話 0 点／文字 10 点)
・デザインソース使用実績 計 47 点

技術交流

1. 研究機関連絡会議

会議名	期日	会場	出席者		
第66回産業技術連携推進会議 総会	R8/1/19	日比谷国際ビルコンファレンス スクエア	清水章良		
		オンライン	雨宮俊彦 布施嘉裕	萩原義人 尾形正岐	長沼孝多 古屋雅章
産業技術連携推進会議					
情報通信・エレクトロニクス部会					
第21回地域交流ワークショップ	R7/6/4	やまぎん県民ホール	保坂 響		
情報通信研究会	R7/10/9～10	兵庫県立工業技術センター	浅川拓也		
情報技術分科会 第18回音・振動研究会	R7/10/16～17	東京都立産業技術研究センター オンライン	坂本智明 岩間貴司		河西伸一
製造プロセス部会					
総会及び第31回表面技術分科会	R7/11/27～28	新都心ビジネス交流プラザ	宮澤航平		
第65回精密微細加工分科会・第6回積層造形研 究会	R7/11/25～26	石川県地場産業振興センター、 石川県工業試験場、(株)ソ ディック	鈴木大介	深澤郷平	
ライフサイエンス部会					
第36回デザイン分科会	R7/6/12～13	兵庫県工業技術センター、デザ イン・クリエイティブセンター 神戸 (KIITO)	鈴木文晃		
第37回デザイン分科会	R7/11/20	オンライン	鈴木文晃		
ナノテクノロジー・材料部会					
繊維分科会 関東・東北地域連絡会 総会	R7/5/22	オンライン	宮川和幸	五十嵐哲也	
繊維分科会 総会	R7/6/19～20	奈良経済会館	宮川和幸		
繊維分科会 繊維技術研究会	R7/10/30～31	久留米シティプラザ	望月威夫		
繊維分科会 関東・東北地域連絡会 生産・測 定技術研究会	R7/11/28	足利織物会館	望月威夫		
繊維分科会 デザイン研究会	R7/12/4～5	丹後・知恵のものづくりパーク 京都府織物・機械金属振興セン ター 他	秋本梨恵		
高分子分科会	R7/10/23～24	J:COMホルトホール大分、西日 本電線(株)、オムロン太陽(株)	芦澤里樹	渡邊慧輔	
高分子分科会共同研究に関する第3回担当者会 議	R7/12/17	東京都立産業技術研究センター	芦澤里樹		
素形材分科会 総会	R7/11/12	オンライン	石田正文		
素形材分科会 担当者会議・工場見学	R7/6/17～18	兵庫県立工業技術センター、 Hytouch神戸	石田正文	深澤郷平	勝又信行
素形材分科会 第21回鋳造技術研究会	R7/10/10	久留米シティプラザ	鈴木大介		
知的基盤部会					
計測分科会	R7/12/3～4	エル・おおさか オンライン	米山 陽 石黒輝雄	雨宮 敦 古屋雅章	寺澤章裕
分析分科会	R7/12/4	エル・おおさか オンライン	佐藤貴裕 渡邊慧輔	宮澤航平 小宮山裕仁	
知的基盤部会総会	R7/12/5	エル・おおさか	佐藤貴裕 雨宮 敦	宮澤航平 寺澤章裕	米山 陽
第29回電磁環境分科会及び第34回EMC研究会	R7/11/12～14	宮城県産業技術総合センター、 山形テルサ	富永裕輝		
電磁環境分科会 第23回関東甲信越静岡EMC研究 交流会	R8/2/6	(地独) 神奈川県立産業技術総 合研究所	小西啓史		
関東甲信越静岡地域部会					
企画調整分科会 (第1回)	R7/11/5	オンライン	清水章良		
企画調整分科会 (第2回)	R8/2/12	オンライン	萩原義人		
第7回関東技術交流分科会	R7/10/21	山梨県立図書館	雨宮俊彦	萩原義人	清水章良
第8回関東技術交流分科会	R7/11/11	長野県工業技術総合センター材 料技術部門	清水章良		
関東技術交流分科会第5回幹事会	R8/2/12	オンライン	萩原義人		
関東甲信越静岡地域産業技術連携推進会議及び関 東甲信越静岡地域部会合同総会	R7/12/10	埼玉県産業技術総合センター	宮川和幸	布施嘉裕	
首都圏公設試連携会議(TKF)					
第65回首都圏公設試連携推進会議(TKF)	R7/12/10	埼玉県産業技術総合センター	宮川和幸	布施嘉裕	

会議名	期日	会場	出席者		
広域首都圏輸出製品技術センター(MTEP)					
第5回臨時広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP) 連携会議	R7/9/1	書面開催	—		
第6回広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP) 連携会議	R7/12/10	埼玉県産業技術総合センター	宮川和幸	布施嘉裕	
公立鉾工業試験研究機関長協議会					
第98回公立鉾工業試験研究機関長協議会総会（総会・視察）	R7/7/24～25	秋田キャッスルホテル、洋上風力発電の総合訓練センター「風と海の学校あきた」、秋田洋上風力発電（株）「AOW風みらい館」、ポートタワーセリオン	雨宮俊彦		
第9回「知的財産に係る分科会」	R7/11/13	オンライン	古屋雅章		
全国食品関係試験研究場所長会					
令和7年度臨時総会	R7/7/16	書面開催	—		
令和7年度定期総会及び食品試験研究推進会議	R8/2/13	つくば国際会議場	木村英生		
令和7年度関東甲信越地区食品醸造研究会	R7/7/18	栃木県産業技術センター	樋口かよ	小松正和	
第70回全国酒造技術指導機関合同会議	R7/10/10	中央合同庁舎 4 号館	小松正和		

2. 学会等の会議

会議名	期日	会場	出席者	
2025年度宝石学会（日本）講演会・総会	R7/6/14～15	岩手大学	佐藤貴裕	
セルロース学会 第32回年次大会	R7/7/10～11	北海道立道民活動センター か でる2・7	芦澤里樹	
（公財）日本醸造協会 第41回ワインセミ ナー	R7/7/15	赤煉瓦酒造工場	小松正和	
（公社）日本材料学会第59回X線材料強度に関す るシンポジウム	R7/7/24～25	名城大学天白キャンパス	鈴木大介	
（公社）日本食品科学工学会第72回大会	R7/8/27～29	日本大学湘南キャンパス	中山鋭士	
（一社）日本調理科学会2025年度大会	R7/8/30～21	東海学園大学名古屋キャンパス	樋口かよ	
（一社）日本食品保蔵科学会創立60周年記念 シンポジウム	R7/9/16	東京農業大学世田谷キャンパス	恩田 匠	
第260回日本作物学会講演会	R7/9/21～22	新潟大学五十嵐キャンパス	橋本卓也	
（一社）触媒学会第16回新電極触媒シンポジウ ム&宿泊セミナー	R7/10/31～11/1	東レ総合研修センター	三神武文	
日本ブドウ・ワイン学会2025甲府大会	R7/11/7～8	シャトレーゼホテル談露館	木村英生	小松正和
			佐藤憲亮	
（社）電気化学会燃料電池研究会 第168回燃料 電池研究会セミナー	R7/11/10	オンライン	三神武文	
第66回電池討論会	R7/11/18～20	愛知県産業労働センター（ウイ ンクあいち）	三神武文	
（公社）精密工学会 画像応用技術専門委員 会 ViEW2025 ビジョン技術の実利用ワーク ショップ	R7/12/4～5	パシフィコ横浜	中村 卓	保坂 響
（一社）表面技術協会 めっき部会12月例会	R7/12/10	オンライン	佐野正明	鈴木大介
電気加工学会全国大会（2025）	R7/12/11～12	静岡理科大学静岡駅前キャン パス	佐野正明	
第37回高分子ゲル研究討論会	R8/1/19～21	東京大学浅野キャンパス	芦澤里樹	
（一社）情報処理学会 第88回全国大会	R8/3/6～8	オンライン	佐藤貴裕	
（公社）日本食品科学工学会関東支部大会	R8/3/7	東京農業大学世田谷キャンパス	橋本卓也	樋口かよ
第76回日本木材学会大会	R8/3/16～18	広島大学東広島キャンパス、広 島国際会議場	芦澤里樹	
2026年度精密工学会春季大会学術講演会	R8/3/17～19	埼玉大学	米山 陽	雨宮 敦
			寺澤章裕	

3. 職員派遣

※中止・欠席は記載していません

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
産総研連携アドバイザー						
第1回地域連絡担当者会議	R7/6/12	(国研)産業技術総合研究所	オンライン	渡辺 誠	佐野正明	萩原義人
第7回 産総研-先端技術開発型中堅・中小企業の交流会 (エレクトロニクス分野における接着・封止技術に関する交流会)	R7/7/3	〃	産業技術総合研究所つくばセンター	萩原義人		
第2回地域連絡担当者会議	R7/9/16	〃	オンライン	渡辺 誠	萩原義人	
第3回地域連絡担当者会議	R7/11/10	〃	〃	渡辺 誠	萩原義人	
第4回地域連絡担当者会議	R8/2/5	〃	〃	渡辺 誠	萩原義人	
産総研ウェビナー	R7/9/21、 10/28、11/5、 11/20、11/26、 R8/2/10	〃	〃	渡辺 誠		
令和7年度戦略的市場開拓支援事業費補助金審査委員会	R7/6/中旬	(公財)やまなし産業支援機構	書面審査	佐野正明		
公益財団法人やまなし産業支援機構 令和7年度海外出願支援事業						
第1回審査委員会	R7/7/4	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨	佐野正明		
第2回審査委員会	R7/9/25	〃	甲府技術支援センター	佐野正明		
山梨みらいファンド事業審査会	R7/11/25、 R8/2/16	(公財)やまなし産業支援機構	甲府技術支援センター	西村通喜		
公益財団法人やまなし産業支援機構 令和7年度中小企業・小規模企業振興基金助成事業審査委員会						
書面による審査	R7/8、R8/1	(公財)やまなし産業支援機構	書面審査	西村通喜	石黒輝雄	
公益財団法人やまなし産業支援機構 設備貸与事業						
第1回審査委員会	R7/4/28	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨	木島一広		
第2回審査委員会	R7/5/27	〃	〃	木島一広		
第3回審査委員会	R7/6/30	〃	〃	木島一広		
第4回審査委員会	R7/7/31	〃	〃	木島一広		
第5回審査委員会	R7/8/26	〃	〃	木島一広		
第6回審査委員会	R7/9/29	〃	〃	木島一広		
第7回審査委員会	R7/10/30	〃	〃	木島一広		
第8回審査委員会	R7/11/28	〃	〃	木島一広		
第9回審査委員会	R7/12/23	〃	〃	木島一広		
第11回審査委員会	R8/3/3	〃	〃	木島一広		
一般社団法人山梨県発明協会						
選考委員会	R7/4/25	(一社)山梨県発明協会	甲府技術支援センター	八代浩二		
第1回理事会	R7/5/28	〃	書面開催	雨宮俊彦		
通常総会	R7/6/30	〃	甲府技術支援センター	雨宮俊彦		
第2回理事会	R8/3/26	〃	〃	清水章良		
山梨県産業技術支援交流会	R7/10/6	(公社)日本技術士会	山梨県立図書館	萩原義人		
山梨県研究推進会議						
第2回研究推進会議	R7/9/25	総合理工学研究機構	甲府技術支援センター	雨宮俊彦	渡辺正尚	
第3回研究推進会議	R8/1/16	〃	〃	雨宮俊彦		
第1回研究推進会議WG会議	R7/4/23	〃	〃	佐野正明		
第2回研究推進会議WG会議	R7/9/8	〃	〃	佐野正明		
第3回研究推進会議WG会議	R7/12/18	〃	〃	佐野正明		
令和7年度Y-CROSTポスター賞表彰評価審査	R7/10/21	総合理工学研究機構	山梨県立図書館	雨宮俊彦		
水素供給インフラ周辺ビジネス参入支援事業費補助金審査委員会	R7/10/初旬	成長産業推進課	書面審査	佐野正明		
令和7年度工業系高校生基幹産業担い手育成事業						
第1回連携推進委員会	R7/6/12	山梨県教育委員会	甲府技術支援センター	雨宮俊彦		
第2回連携推進委員会	R8/2/19	〃	〃	雨宮俊彦		
第1回担い手委員会	R7/4/17	〃	〃	西村通喜		
第2回担い手委員会	R7/5/22	〃	オンライン	西村通喜		
第3回担い手委員会	R7/10/23	〃	甲府技術支援センター	西村通喜		
第4回担い手委員会	R8/1/22	〃	〃	西村通喜		
令和7年度県民の日富士吉田会場						
実行委員会総会	R7/5/29	県民の日富士吉田会場実行委員会	富士吉田合同庁舎	宮川和幸		
オープニングセレモニー	R7/10/4	〃	富士山パーキング	井出博幸		

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
山梨県原産地呼称日本酒認証審査会						
第33回	R7/4/11	山梨県酒造協同組合	山梨県酒造組合	尾形美貴		
第34回	R7/5/23	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	宮川和博
第35回	R7/7/18	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	
第36回	R7/9/19	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	
第37回	R8/1/16	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	
第38回	R8/2/13	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	
第39回	R8/3/13	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	
GI YAMANASHI 審査会						
第30回	R7/4/11	山梨県酒造協同組合・山梨県原産地呼称日本酒管理委員会	山梨県酒造組合	尾形美貴		
第31回	R7/5/23	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	宮川和博
第32回	R7/7/18	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	
第33回	R7/9/19	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	
第34回	R7/12/12	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	
第35回	R8/1/16	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	
第36回	R8/2/13	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	
第37回	R8/3/13	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	
令和7年度山梨県原産地呼称日本酒管理委員会	R7/毎月	山梨県酒造協同組合	書面開催	渡辺正尚		
清酒貯蔵出荷管理技術相談(呑切)及び県産清酒統一銘柄推奨審査会	R7/7/25	山梨県酒造組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也	
令和7年東京国税局酒類鑑評会	R7/9/24	東京国税局鑑定官室	東京国税局	橋本卓也		
山梨県新酒鑑評会	R8/3/24	山梨県酒造組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也	
山梨県ジュエリーマスター認定制度						
第1回認定委員会	R7/4/25	産業振興課	防災新館	渡辺正尚		
第2回認定委員会	R7/7/25	〃	〃	渡辺正尚		
第1回試験実施委員会	R7/7/4	〃	〃	宮川和博	佐野照雄	
認定試験	R7/9/24	〃	〃	宮川和博	佐野照雄	
認定試験	R7/9/25	〃	〃	佐野照雄		
第65回水晶彫刻新作展 審査会	R7/11/7	山梨県水晶美術彫刻協同組合	甲府市役所	渡辺正尚		
ロボコンやまなし2025						
第1回実行委員会	R7/6/26	ロボコンやまなし実行委員会	甲府技術支援センター	保坂 響	浅川拓也	
第2回実行委員会	R7/10/29	〃	アイメッセ山梨	保坂 響		
大会	R7/11/8	〃	山梨県流通センター	雨宮俊彦 萩原 茂	河野 裕 保坂 響	宮本博永 中込 亮
第3回実行委員会	R8/1/28	〃	甲府技術支援センター	保坂 響		
技能検定試験						
(金属熱処理 一般熱処理作業)水準調整会議	R7/5/29	山梨県職業能力開発協会	中小企業人材開発センター	深澤郷平		
(ダイカスト コールドチャンパダイカスト作業)水準調整会議	R7/5/29	〃	〃	鈴木大介		
(金属熱処理 一般熱処理作業)技能検定	R7/8/31	〃	〃	深澤郷平		
(ダイカスト コールドチャンパダイカスト作業)技能検定	R7/7/26	〃	県内企業	鈴木大介		
(めっき 電気めっき作業)外国人技能実習制度における技能検定	R7/5/9	〃	〃	三神武文		
(パン製造 パン製造作業)外国人技能実習制度における技能検定	R7/4/11	〃	甲府技術支援センター	橋本卓也		
(パン製造 パン製造作業)技能検定	R7/9/18	〃	〃	橋本卓也		
(パン製造 パン製造作業)技能検定	R7/9/19	〃	〃	樋口かよ		
(機械プラント製図 機械製図CAD作業)水準調整会議	R7/11/26	〃	中小企業人材開発センター	早川 亮		
(機械プラント製図 機械製図CAD作業)技能検定、採点	R8/1/25、1/28	〃	県内企業、中小企業人材開発センター	早川 亮		

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
山梨県溶接技術競技大会						
山梨県溶接技術競技大会	R7/6/7	(一社)山梨県鉄構溶接協会	ポリテクセンター山梨	雨宮俊彦 鈴木大介	阿部 治 深澤郷平	石田正文
山梨県高等学校溶接競技会	R7/6/7	〃	〃	雨宮俊彦 鈴木大介	阿部 治 深澤郷平	石田正文
外観審査会	R7/6/10	〃	〃	阿部 治 深澤郷平	石田正文	鈴木大介
曲げ審査会	R7/7/8	〃	〃	阿部 治 深澤郷平	石田正文	鈴木大介
表彰委員会	R7/7/11	〃	山梨県鉄構会館	雨宮俊彦	阿部 治	
表彰式	R7/9/10	〃	〃	雨宮俊彦		
キックオフ会議	R8/2/27	〃	〃	恩田 匠	阿部 治	
新任職員研修 フォローアップ研修 先輩職員との座談会	R7/12/5	職員研修所	山梨県自治会館	佐藤博紀	佐藤憲亮	
医療機器産業技術人材養成講座修了発表会	R8/2/10	山梨大学 融合研究臨床 応用推進センター	山梨大学 医学部シミック プラザ	佐藤博紀		
ワイン品質検討会	R7/12/10	果樹試験場	果樹試験場	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
新任職員研修第11回行政課題研修「ワ イン県×部局横断」	R7/9/4	職員研修所	甲州市勝沼市民会館	木村英生		
山梨県ワイン産地比較ワインテイ スティング会	R8/2/17	山梨県ワイン酒造協同組 合	ワイン技術部	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
令和7事務年度全国市販酒類調査品質 評価	R8/2/18	東京国税局	東京国税局	小松正和		
甲州市原産地呼称ワイン認証審査会						
審査会	R7/8/5	甲州市	勝沼ぶどうの丘	木村英生		
甲州市ワイン品質審査会						
第39回（白ワイン部門）	R7/6/10	甲州市	勝沼ぶどうの丘	木村英生	小松正和	
第39回（赤、ロゼ、オレンジ、発 泡ワイン部門）	R7/6/17	〃	〃	小松正和		
令和7年度第1回ヌーヴォーワイン	R7/9/25	〃	〃	佐藤憲亮		
令和7年度第2回ヌーヴォーワイン	R7/10/28	〃	〃	小松正和	佐藤憲亮	
第40回	R7/12/2	〃	〃	木村英生	小松正和	
Japan Wine Competition（日本ワインコンクール）						
第1回運営部会	R7/6/18	日本ワインコンクール実 行委員会	ワイン技術部	小松正和		
準備作業	R7/7/8	〃	アイメッセ山梨	木村英生 三科浩仁	小松正和 窪田 守	佐藤憲亮
審査会	R7/7/9～7/10	〃	〃	恩田 匠 佐藤憲亮	木村英生 三科浩仁	小松正和 窪田 守
テイスティングフェス	R7/8/30	〃	山梨県庁	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
受賞ワインセミナー及びワイナ リー交流イベント	R7/8/31	〃	山梨県庁	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
第2回運営部会	R7/12/18	〃	ワイン技術部	小松正和		
第1回審査部会	R8/1/15	〃	オンライン	小松正和		
臨時実行委員会	R8/2/12	〃	オンライン	木村英生		
合同会議	R8/3/30	〃	オンライン	木村英生	小松正和	
勝沼ワイナリーズクラブ品質審査会						
第72回勝沼ボトル品質審査会	R7/8/19	勝沼ワイナリーズクラブ	ワイン技術部	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
品質勉強会	R8/3/27	〃	〃	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
山梨大学 ワイン・フロンティアリーダー養成プログラム						
第9回ワイン科学士認定委員会	R7/4/16	山梨大学	山梨大学	木村英生		
第17回山梨大学ワイン科学士認定 証書授与式	R7/6/26	〃	〃	雨宮俊彦	木村英生	
第1回推進委員会	R7/12/16	〃	〃	木村英生		
講義「日本ワイン学」	R7/11/25	〃	〃	木村英生		
第2回推進委員会	R8/3/5	〃	〃	木村英生		
地理的表示「山梨」審査会						
第118回	R7/4/24	山梨県ワイン酒造組合	山梨県地場産業センター	木村英生	小松正和	
第119回	R7/6/5	〃	〃	木村英生	小松正和	
第120回	R7/7/2	〃	〃	木村英生	小松正和	
第121回	R7/8/7	〃	〃	木村英生	小松正和	
第122回	R7/9/25	〃	〃	木村英生	小松正和	
第123回	R7/10/27	〃	〃	木村英生	小松正和	
第124回	R7/12/4	〃	〃	木村英生	小松正和	
第125回	R8/1/16	〃	〃	木村英生	小松正和	
第126回	R8/2/17	〃	〃	木村英生	小松正和	
第127回	R8/3/17	〃	〃	木村英生	小松正和	

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
「山梨ワイン産地確立推進計画」推進連絡会議						
第25回	R7/8/26	果樹・6次産業振興課	果樹試験場	木村英生	小松正和	
「第3期山梨ワイン産地確立推進計画」策定会議						
準備会	R7/10/8	産業振興課	ベルクラシック甲府、オンライン	木村英生	小松正和	
第1回	R8/1/14	〃	ベルクラシック甲府	木村英生	小松正和	
第2回	R8/2/26	〃	〃	木村英生	小松正和	
小規模ワイナリー重点支援事業						
事業説明会	R7/6/23	山梨県ワイン酒造組合	山梨県地場産業センター	木村英生	小松正和	
事業報告会	R8/2/27	〃	〃	木村英生	小松正和	
第23回富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～審査会						
予備審査	R8/1/23	富士山憲章山梨県推進会議	富士山世界遺産センター	秋本梨恵		
本審査	R8/1/30	〃	〃	五十嵐哲也		
令和7年度 山梨県クリーニング師試験						
第1回試験委員会	R7/7/25	福祉保健部	丸栄ビル会議室	望月威夫		
山梨県立吉田高等学校令和7年度理数探究発表会	R7/9/3～4	山梨県立吉田高等学校	山梨県立吉田高等学校	望月威夫	三井由香里	金丸勝彦
かいくるプロモーション業務委託事業者選定等委員会	R7/5	産業政策部	書面開催	五十嵐哲也		

4. その他会議

会議名	期日	会場	出席者		
産学官連携・国関連					
総合理工学研究機構					
第1回総合理工学研究機構研究員研修会及び総合理工学研究機構創立20周年記念式典	R7/5/30	ベルクラシック甲府	関係職員		
第2回総合理工学研究機構研究員研修会	R7/11/13	富士山科学研究所	関係職員		
第3回総合理工学研究機構研究員研修会	R8/2/26	甲府技術支援センター	関係職員		
やまなし産学官連携研究交流事業	R7/10/21	山梨県立図書館	関係職員		
産業技術総合研究所					
令和7年度第2回地域連携担当者会議	R7/9/16	オンライン	中村 卓		
組合関連					
協同組合山梨県ジュエリー協会					
総会	R7/5/26	シャトレゼホテル談露館	雨宮俊彦	小松利安	
理事会	R7/4/18	協同組合山梨県ジュエリー協会	宮川和博	小松利安	
	R7/5/26	シャトレゼホテル談露館	小松利安		
	R7/7/7	協同組合山梨県ジュエリー協会	小松利安		
	R7/8/4	〃	小松利安		
	R7/10/6	〃	小松利安		
	R7/11/4	〃	小松利安		
	R7/12/1	〃	小松利安		
	R8/2/2	〃	小松利安		
	R8/3/16	〃	小松利安		
新年互礼会	R8/1/22	シャトレゼホテル談露館	雨宮俊彦		
一般社団法人宝石のまち甲府会議 総会および外部団体連絡会議	R7/5/28	協同組合山梨県ジュエリー協会	宮川和博	小松利安	
西桂織物工業協同組合 第53回通常総会	R7/5/23	西桂町産業会館	宮川和幸	五十嵐哲也	
都留機械金属工業協同組合 第54回通常総会	R7/5/17	ふるや	宮川和幸		
富士吉田商工会議所 新年賀詞交歓会	R8/1/7	ハイランドリゾート&スパ	雨宮俊彦	宮川和幸	
山梨県鉄構溶接協会 新年互礼会	R8/1/23	シャトレゼホテル談露館	雨宮俊彦	恩田 匠	
富士吉田織物協同組合 令和7年度通常総会	R7/5/27	富士技術支援センター	宮川和幸	五十嵐哲也	
山梨県絹人織物工業組合 令和7年度通常総会	R7/5/30	富士技術支援センター	宮川和幸	秋本梨恵	
令和7年度山梨県菓子工業組合 通常総会（第88回定期総代会）	R7/5/19	地場産業振興センター	宮川和博	尾形美貴	
一般社団法人山梨県機械電子工業会					
通常総会（表彰式・懇親会）	R7/6/23	ベルクラシック甲府	雨宮俊彦	渡辺正尚	宮川和幸
			八代浩二	井出博幸	
新春トップセミナー新年賀詞交歓会	R8/2/2	〃	雨宮俊彦	渡辺正尚	宮川和幸
			八代浩二	井出博幸	
山梨県ワイン酒造組合 第71回通常総会	R7/6/19	山梨県地場産業センター	雨宮俊彦	木村英生	
山梨ワイナリー協会 第53回定時総会	R7/8/26	勝沼ぶどうの丘	雨宮俊彦	木村英生	
令和7年度山梨青年工業会式典	R7/4/17	ジットプラザ甲府	渡辺正尚		
その他					
令和7年度水素・燃料電池産業及び医療機器産業技術人材養成講座合同開講式	R7/4/15	山梨大学	雨宮俊彦		
令和7年度ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	R8/1/19	オンライン	渡辺正尚	宮川和幸	
山梨県立スタートアップ支援センター開所式	R7/11/5	山梨県立スタートアップ支援センター	雨宮俊彦	渡辺正尚	宮川和幸
			八代浩二	佐野正明	宮川和博
			西村通喜	宮川理恵	木村英生
			五十嵐哲也	萩原義人	
山梨大学「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」及び「医療機器産業技術人材養成講座」事業化コース合同開講式	R7/6/10	山梨大学	八代浩二		
令和7年度「水素供給インフラ周辺ビジネス人材養成講座」成果報告会および閉講式	R7/8/27	山梨大学	佐野正明		
令和7年度「水素・燃料電池人材養成講座事業化コース」閉講式	R7/10/22	山梨大学	佐野正明		
令和7年度「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」成果報告会・閉講式	R8/2/12	山梨大学	八代浩二		
メディカル・デバイス・コリドー推進センター月次報告会	R7/5/21、6/18、7/18、8/20、9/18、10/17、12/17、R8/1/21、2/18、3/13、3/25	甲府技術支援センター	萩原義人		
公益社団法人山梨科学アカデミー創立30周年記念式典	R7/5/30	ベルクラシック甲府	関係職員		

会議名	期日	会場	出席者		
やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会					
ワーキンググループ合同会議	R7/6/19	山梨大学	恩田 匠		
ワーキンググループ合同会議	R8/2/20	〃	恩田 匠		
協議会 令和7年度 第1回会議	R7/10/14	〃	八代浩二		
協議会 令和7年度 第2回会議	R8/3/24	〃	八代浩二		
競争的資金研究（NEDO）「難燃性マグネシウム合金ダイカストによる自動車用大型部材製造技術の開発」終了時評価委員会	R7/9/12	ステーションコンファレンス川崎RoomD	佐野正明		
令和7年度ものづくり企業DX推進支援専門家派遣事業情報共有会	R7/4/9	甲府技術支援センター	長沼孝多		
	R7/5/7	オンライン	長沼孝多		
	R7/6/4	〃	長沼孝多		
	R7/7/2	甲府技術支援センター	長沼孝多		
	R7/8/6	オンライン	長沼孝多		
	R7/9/3	〃	長沼孝多		
	R7/10/8	甲府技術支援センター	長沼孝多		
	R7/11/5	オンライン	長沼孝多		
	R7/12/3	〃	長沼孝多		
	R8/1/7	甲府技術支援センター	長沼孝多		
令和7年度中小企業サポート連携拠点会議	R8/2/6	オンライン	長沼孝多		
	R8/3/4	〃	長沼孝多		
	R7/4/15	山梨県立図書館	八代浩二		
	R7/5/20	書面開催	長沼孝多		
	R7/6/17	オンライン	長沼孝多		
	R7/8/6	書面開催	長沼孝多		
	R7/10/1	〃	長沼孝多		
	R7/10/23	〃	長沼孝多		
	R7/11/21	〃	長沼孝多		
	R7/12/16	オンライン	長沼孝多		
令和7年東京国税局酒類鑑評会 製造技術研究会	R8/1/20	〃	長沼孝多		
	R8/2/16	書面開催	長沼孝多		
	R8/3/17	防災新館	長沼孝多		
首都圏モビリティEMC技術研究会 実験会	R7/10/30	東京国税局	長沼孝多	橋本卓也	
2026年 規程説明会・技術シンポジウム	R7/6/20	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	小西啓史		
山梨県食品技術研究会創立40周年記念シンポジウム	R8/2/13	機械振興会館	中村 卓		
果汁技術研究発表会	R7/8/1	ベルクラシック甲府	恩田 匠		
	R7/9/12	渋谷区文化総合センター	恩田 匠		
NEDO「水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業／燃料電池・水電解の共通基盤技術開発／電気化学的特性測定」					
NEDO採択審査委員会	R7/4/25	ステーションコンファレンス川崎	三神武文		
NEDO事業 確定検査	R7/7/7	NEDO本部	三神武文	權正裕之	
NEDO水素・燃料電池成果報告会2025	R7/7/15～16	パシフィコ横浜	三神武文		
GL会議	R7/10/10、 R8/1/16	オンライン	三神武文		
NEDO PL意見交換会	R7/9/2	NEDO本部	三神武文		
FCCJ基盤技術研究懇話会	R7/11/26～27	人材開発センター富士研修所	三神武文		
NEDO有機修飾についての触媒コンソーシアム	R7/11/4	オンライン	三神武文		
第18回 FC-Cubicオープンシンポジウム	R7/12/19	東北大学青葉山キャンパス	三神武文		
第12回 FC ワークショップ 燃料電池、水電解の最先端の解析技術紹介と材料解析課題への解決策の提示	R8/2/20	東京国際交流館	三神武文		
第25回H2&FC EXPO 国際水素・燃料電池展	R8/3/17～19	東京ビッグサイト	恩田 匠	三神武文	加賀爪広
			塩原 敦	穴水弘一	丸山知子
			八代浩二	佐野正明	西村通喜
			鈴木大介	長沼孝多	
令和7年度CNF地域コーディネーター連携会議	R7/5/28	京都市産業技術研究所	芦澤里樹		
ふじのくにセルロース循環経済国際展示会	R7/10/16～17	富士市産業交流展示場「ふじさんめっせ」	恩田 匠 宮澤航平	上垣良信 渡邊慧輔	芦澤里樹
CNF活用オープンゼミ ～ブドウ由来CNFを活用した製品開発～	R8/1/26	レイアップ御幸町ビル	芦澤里樹		
NEDO×NCJ「ナノセルロースの社会実装に向けた技術連携会議」	R8/1/27	ステーションコンファレンス川崎	芦澤里樹		
山梨大学「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」水素・燃料電池関連県外施設見学会	R7/12/12	常滑窯業試験場、セントレア国際空港	塩原 敦		
山梨デザインセンター デザインカンファレンスin甲州	R7/7/13	ぶどうの丘	串田賢一	長沼孝多	

会議名	期日	会場	出席者		
山梨デザインセンター デザインカンファレンスin富士吉田	R7/11/23	FabCafe Fuji	五十嵐哲也	秋本梨恵	
2025年度グッドデザイン賞受賞展及び受賞祝賀会	R7/11/4	東京ミッドタウン、東京ガーデンシアター	宮川理恵		
2025年度グッドデザイン賞受賞展及びデザイン事業関連機関向けワークショップ&交流会、GOOD DESIGN MEET UP	R7/11/5	東京ミッドタウン	鈴木文晃	佐藤博紀	
(一社) 葡萄酒技術研究会 前期講演会	R7/6/12	シャトレレーゼホテル談露館	小松正和		
山梨ワイナリー協会視察研修	R8/3/18	千曲川ワインバレー	小松正和	佐藤憲亮	
日本ワイナリー協会ワークショップ<ロゼワイン>	R8/3/6	ビジョンセンター浜松町	小松正和	佐藤憲亮	
国際的なファッションおよびテキスタイル工芸の知識連携・交流プロジェクト	R7/6/4~11	チェンマイ、ウドンタニー、バンコク (タイ)	五十嵐哲也		
2025 Meet Pacific (花蓮創新創業嘉年華)	R7/10/23~28	花蓮県 (台湾)	五十嵐哲也		
第4回 全国火山実験研究交流会	R8/3/20	板橋区立教育科学館	秋本梨恵		
ハタオリマチのハタ印会議					
グループ会議	R7/4/25	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	秋本梨恵	
ハタオリマチのハタ印会議	R7/4/25、8/22、11/14	〃	五十嵐哲也	秋本梨恵	
フジヤマテキスタイルプロジェクト					
キックオフミーティング	R7/6/12	東京造形大学	五十嵐哲也	秋本梨恵	
発会式	R7/8/2	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	秋本梨恵	
講評会	R8/2/14	〃	五十嵐哲也	秋本梨恵	
富士吉田繊維産地の将来に関する協議会					
第1回協議会	R8/1/23	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也		
説明会	R8/2/9	〃	五十嵐哲也		
第2回協議会	R8/2/26	〃	五十嵐哲也		

報道関係

1. テレビ等

	題目	名称等	年月日
1	甲府「デザイン思考」の取り組み紹介 地域経済活性化イベント	NHK 甲府放送局	R7/5/30
2	「いろいろなチャレンジが製品を作りながらできる」織物や精密機械など製品開発を後押し 県の支援施設がオープン	テレビ山梨	R7/5/14
3	可能性を広げる！イノベーション支援棟	山梨放送	R7/7/21
4	【朗報】洗える和紙が誕生しました	メルカリ R4D	R7/9/29
5	【大公開】洗える和紙の作り方	メルカリ R4D	R7/9/29
6	かえるの学校「富士吉田の織物の歴史、魅力、特徴及び将来への展望について」	エフエムふじここ	R7/11/4
7	FM FUJI ニュースサブリ「ほうとう用鋳物鍋 県民の暮らし映す」	FM FUJI	R7/10/29
8	日本全国にプラス！ 甲州鉄器「ぐつぐつ」のご紹介	CBC ラジオ	R7/11/10
9	グッドデザイン賞受賞 ほうとう用鍋・甲州鉄器『ぐつぐつ』 軽量化や蒸気の噴出量を蓋でコントロール “日常的な使いやすさ”で高評価	テレビ山梨	R7/11/26

2. 新聞・情報誌等

	題目	名称等	年月日
1	9社の原酒42点 味や香りを審査 県酒造組合が新酒鑑評会	山梨日日新聞	R7/4/1
2	伝統の和紙すき 楽しく体験 山梨・身延 道の駅「にしじま和紙の里かみすきパーク」	朝日新聞	R7/4/30
3	中小の高度開発を支援 県、富士吉田施設に新棟	山梨日日新聞	R7/5/15
4	県が「技術革新」支援棟 産業技術施設に整備 「繊維」など強化へ	読売新聞	R7/5/15
5	ワイン品質守り50年 甲州市審査会 味や香りにお墨付き	山梨日日新聞	R7/6/11
6	14テーマの研究 甲府で成果発表 県産業技術センター	山梨日日新聞	R7/7/10
7	日本酒26点の出来栄え評価	山梨日日新聞	R7/7/30
8	山梨県産業技術センターが開発した甲州鉄器「ぐつぐつ」、2025年度グッドデザイン賞を受賞！！（デジタル版）	PRTIMES	R7/10/15
9	山梨県産業技術センターが開発した甲州鉄器「ぐつぐつ」、2025年度グッドデザイン賞を受賞！！（デジタル版）	時事ドットコム	R7/10/15
10	山梨県産業技術センターが開発した甲州鉄器「ぐつぐつ」、2025年度グッドデザイン賞を受賞！！（デジタル版）	毎日新聞	R7/10/15
11	山梨県産業技術センターが開発した甲州鉄器「ぐつぐつ」、2025年度グッドデザイン賞を受賞！！（デジタル版）	マピオンニュース	R7/10/15
12	山梨県産業技術センターが開発した甲州鉄器「ぐつぐつ」、2025年度グッドデザイン賞を受賞！！（デジタル版）	オリコンニュース	R7/10/15
13	山梨県産業技術センターが開発した甲州鉄器『ぐつぐつ』、2025年度グッドデザイン賞を受賞！！（デジタル版）	EXCITE ニュース	R7/10/15

	題目	名称等	年月日
14	山梨県産業技術センターが開発した甲州鉄器『ぐつぐつ』、2025 年度グッドデザイン賞を受賞！！（デジタル版）	サードニュース	R7/10/15
15	山梨県産業技術センターが開発した甲州鉄器『ぐつぐつ』、2025 年度グッドデザイン賞を受賞！！（デジタル版）	ニコニコニュース	R7/10/15
16	ほうとう用鋳物鍋県民の暮らし映す 県開発「ぐつぐつ」、グッドデザイン賞	朝日新聞（山梨版）	R7/10/29
17	厚さ 1.5mm に込めた工夫 名物「ほうとう」専用鍋、山梨県が開発（デジタル版）	YAHOO ニュース	R7/10/29
18	ほうとう用鋳物鍋県民の暮らし映す 県開発「ぐつぐつ」、グッドデザイン賞（デジタル版）	朝日新聞	R7/10/29
19	厚さ 1.5mm に込めた工夫 名物「ほうとう」専用鍋、山梨県が開発（デジタル版）	MSN	R7/10/29
20	ほうとう用鋳物鍋グッドデザイン賞 山梨県産業技術センターが開発	朝日新聞（長野版）	R7/11/7
21	グッドデザインの真髄とは「カッコいい」より「気が利いている」こと	GIZMODO JAPAN	R7/11/12
22	グッドデザイン賞 ほうとう用鍋が受賞 県産業技術センター 日常使用へ工夫	読売新聞（山梨版）	R7/11/13
23	新酒の仕込みを前に県酒造組合が講話会 品質向上委員会も開催	山梨日日新聞	R7/11/22
24	グッドデザイン賞受賞 ほうとう用鍋・甲州鉄器『ぐつぐつ』 軽量化や蒸気の噴出量を蓋でコントロール “日常的な使いやすさ” で高評価	TBS NEWS DIG	R7/11/26
25	山梨のモノづくりを強力にバックアップ！富士技術支援センターに「イノベーション支援棟」	山梨県広報誌 ふれあい Vol. 87	R8/1/1
26	【美と美味の国・山梨へ】第 6 回 富士の伏流水に育まれ、数奇な運命をたどってきたテキスタイルの物語	家庭画報.com	R8/1/19
27	3D プリンターで原木舞茸を制作中	広報丹波山第 190 号	R8/2
28	9 社の原酒 41 点を審査 甲府で新酒鑑評会	山梨日日新聞	R8/3/31

職員の資質向上

1. 派遣研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
国立試験研究機関等			
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 鈴木大介	地域産業活性化人材交流事業	(国研) 産業技術総合研究所 マルチマテリアル研究部門 部材接合研究グループ	R7/11/12～21、 12/8～19
山梨大学との共同研究			
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 主任研究員 上垣良信	低温プラズマ処理の表面処理効果	山梨大学	通年
知的財産権研修			
企画連携推進部 企画・情報科 主任研究員 古屋雅章	令和7年度（初級）知的財産権研修（第1回）	(独)工業所有権情報・研修館 ※オンライン	R7/6/4～6
中小企業支援担当者等研修			
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 尾形美貴	伴走型支援に役立つ傾聴力と質問力	(独) 中小企業基盤整備機構 人材支援部 中小企業大学校Web校	R7/7/1、7/8
電子・システム技術部 システム開発科 技師 浅川拓也 機械技術部 研究員 雨宮 敦	中小企業支援担当者等研修 基礎研修 「公設試験研究機関研究職員研修」	(独) 中小企業基盤整備機構 関東本部 中小企業大学校東京校	R7/9/16～19
電子・システム技術部 電子応用科 主任研究員 木島一広	伴走型支援のためのロジカルシンキング	(独) 中小企業基盤整備機構 関東本部 中小企業大学校東京校	R7/9/24～26
基礎技術研修			
電子・システム技術部 電子応用科 技師 小西啓史	EMC試験法講習会（民生機器コース）	(一社)KEC関西電子工業振興センター けいはんな試験センター	R7/10/23～24
電子・システム技術部 システム開発科 技師 浅川拓也	シングルボードコンピュータによる AI・ディープラーニングと活用技術	高度ポリテクセンター	R7/11/10～12
電子・システム技術部 電子応用科 研究員 富永裕輝	メタマテリアル・メタサーフェスの基 礎と最近の研究開発動向	オンライン	R7/12/19
機械電子技術部 機械電子科 主幹研究員 勝又信行	3次元CADを活用したソリッドモデリン グ技術	(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機 構山梨支部 山梨職業能力開発促進セ ンター	R7/6/11～13
機械電子技術部 素材料科 主任研究員 望月陽介	甲種防火管理新規講習	(一財) 日本防火・防災協会 山梨県自治会館	R7/6/5～6
繊維技術部 技術支援科 主任研究員 秋本梨恵	テキスタイルカレッジ入門講座 「2日で学ぶせんいと布づくり」	オンライン	R7/7/14～15
繊維技術部 製品開発科 主幹研究員 望月威夫	普通第一種圧力容器取扱作業主任者技 能講習会	(一社) 日本ボイラ協会東京支部	R7/9/17～18
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主幹研究員 阿部 治	普通第一種圧力容器取扱作業主任者技 能講習会	(一社) 日本ボイラ協会東京支部	R7/12/9～10

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
基礎技術研修			
デザイン技術部 研究員 佐藤博紀	3Dスキャナを活用したリバースエンジニアリング技術	高度ポリテクセンター	R7/10/6～7
デザイン技術部 主任研究員 鈴木文晃	subD入門 (Rhincoceros)	オンライン	R7/5/28
企画連携推進部 企画・情報科 主任研究員 尾形正岐 主任研究員 古屋雅章	特別管理産業廃棄物責任者に関する講習会	アピオ甲府	R7/8/7
食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨・宝飾科 研究員 林 善永 材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 石田正文	機械研削盤のといし取替・試運転の業務特別教育 (機械研削)	静基連会館、ポリテクセンター静岡	R8/1/27～1/28
食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨・宝飾科 研究員 林 善永 材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 石田正文	研削といしの取替え等の業務に係る特別教育 (自由研削)	山梨県立中小企業人材開発センター	R7/12/15
機械技術部 研究員 長田和真	研削といしの取替え等の業務に係る特別教育 (自由研削)	山梨県立中小企業人材開発センター	R7/5/23
機械技術部 専門員 河西伸一 研究員 坂本智明 機械電子技術部 素材科 主任研究員 寺澤章裕	特定粉じん作業特別教育	山梨県立中小企業人材開発センター	R7/8/19
機械技術部 専門員 岩間貴司	玉掛け特別教育	(公社) ボイラ・クレーン安全協会甲信事務所	R7/6/5～7
県内民間企業研修 ものづくり研修			
機械電子技術部 機械電子科 研究員 渡邊慧輔 技師 小宮山裕仁	ものづくり研修	浅間合成(株)	R7/10/27、30、11/5、10、12、14
機械技術部 研究員 雨宮 敦	ものづくり研修	(株)セイプラ	R8/1/9～16

2. その他研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
職員	産業技術連携推進会議 関東甲信越静 地域部会 企画調整分科会 第2回GX 施策勉強会	オンライン	R7/5/27
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 深澤郷平	誘導加熱技術の基礎	オンライン	R7/6/20
食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨・宝飾科 研究員 林 善永 研究員 佐藤貴裕	ジュエリー産地山梨高度人材養成講座 彫金の技法と日本独自の銅合金を山梨 のジュエリーへ【彫金の技術（象嵌と 色金）】	宝石美術専門学校	R7/9/9、10、16、 17
食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨・宝飾科 研究員 林 善永 会計年度任用職員 鶴田裕太 材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 鈴木大介 主任研究員 深澤郷平	ガス溶接技能講習	ポリテクセンター山梨	R7/9/18～19
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 宮澤航平	FE-SEM標準コース	日本電子(株)	R7/10/8～10
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 深澤郷平	日本熱処理技術協会主催「熱処理品質 の評価・解析技術」ー熱処理部品の優 れた性能を支える最新の分析・評価技 術ー	オンライン	R7/10/22～23
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 深澤郷平	(一社) 日本鉄鋼協会「カーボン ニュートラル社会実現のためのエネル ギー材料における科学基盤と開発最前 線」	鉄鋼会館	R7/11/17
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 石田正文	SXES入門コース	日本電子(株)	R7/12/11
職員	(独) 日本学術振興会 研究倫理e- ラーニングコース	オンライン	R7/12/18～ R8/3/19
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 技師 中山鋭士	(一社) 山梨県食品衛生協会 水道水 質管理研修会	山梨県自治会館	R7/12/16
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 深澤郷平	EPMA入門コース	日本電子(株)	R8/2/17～20
電子・システム技術部 システム開発科 研究員 保坂 響 機械技術部 研究員 雨宮 敦	協働ロボットCRX操作活用コース	ファナック(株)	R8/3/3～6
ワイン技術部 主任研究員 小松正和 研究員 佐藤憲亮	ワークショップ「ロゼワイン」	日本ワイナリー協会	R8/3/6
機械技術部 主任研究員 米山 陽 研究員 雨宮 敦	計測が切り拓くさらに広がる30番の世 界	ブラザーテクノロジーセンター	R8/3/12
機械技術部 研究員 雨宮 敦	(一財) 日本品質保証機構 【初級】 はじめての不確かさ評価	オンライン	R8/3/13

学会・協会等からの表彰

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
天然素材のパナジウム媒染による機能化に関する研究	山梨県総合理工学研究機構	平成30年度Y-CROST研究奨励賞	上垣良信	H31/3/18
山梨県における県産小麦と県産パン酵母に関する研究開発とその普及	全国食品関係試験研究場所長会	令和元年度優良研究・指導業績表彰	木村英生	R2/2/13
日本のスパークリングワイン製造に関する研究	日本醸造協会	日本醸造協会技術賞	恩田 匠	R2/10/12
燃料電池に関する一連の研究とその成果の企業支援への展開	山梨県総合理工学研究機構	令和2年度Y-CROST研究奨励賞	三神武文	R3/2/5
X線材料強度部門委員会運営と活性化への貢献	日本材料学会	令和2年度日本材料学会X線材料強度部門委員会功労賞	八代浩二	R3/2/19
ワインをはじめとする県産農産物加工品の品質向上と開発	山梨県総合理工学研究機構	令和3年度Y-CROST研究奨励賞	小松正和	R4/2/14
ブドウ由来等のセルロースナノファイバーを基盤とした高付加価値製品及び新素材開発	山梨県総合理工学研究機構	令和5年度Y-CROST研究奨励賞	芦澤里樹	R6/2/13
日本産ブドウの特徴を活かしたビン内二次発酵法によるスパークリングワインの開発	日本食品科学工学会	令和6年度技術賞	恩田 匠	R6/8/29
甲州オレンジワインの醸造技術に関する研究	日本ブドウ・ワイン学会	技術賞	小松正和 佐藤憲亮 木村英生 恩田 匠	R6/12/8
切削加工技術の高付加価値化に関する研究と技術支援への取り組み	山梨県総合理工学研究機構	令和6年度Y-CROST研究奨励賞	米山 陽	R7/2/10
山梨県における日本酒製造用の麴の品質向上に関する技術普及	全国食品関係試験研究場所長会	令和6年度優良研究・指導業績表彰	長沼孝多	R7/2/14
NC制御による局所的ピーニング処理法の研究	山梨県総合理工学研究機構	令和7年度Y-CROSTポスター賞	米山 陽	R8/2/26
プラスチック製品の高品質化に関する研究と業界への技術的支援	山梨県総合理工学研究機構	令和7年度Y-CROST研究奨励賞	尾形正岐	R8/2/26

※）産業技術センター開設以降の表彰を掲載しております。

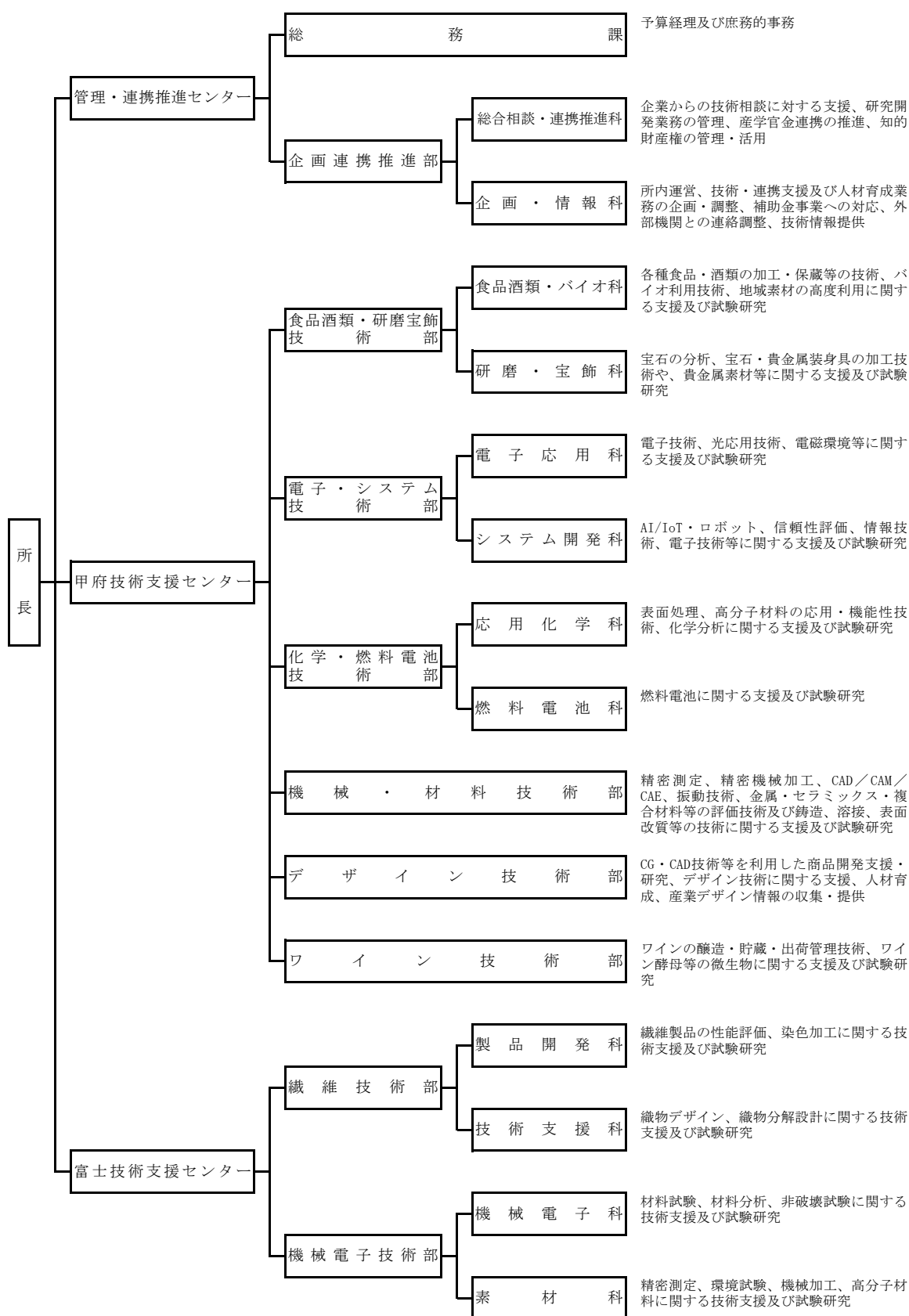
加入学会・協会等

学会・協会名	所在地	電話番号
(一社)山梨県発明協会	山梨県甲府市大津町2192-8 アイメッセ3階	055-243-6145
(公社)日本農芸化学会	東京都文京区弥生2丁目4番16号 学会センタービル2階	-
(公財)日本醸造協会	東京都北区滝野川2-6-30	03-3910-3853
(一社)溶接学会	東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地 溶接会館6F	03-5825-4073
(公社)日本分析化学会	東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304	03-3490-3351
日本工芸技術協会	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-2-3-402 (財)工芸財団内	03-3356-4966
(一社)日本色彩学会	東京都杉並区阿佐谷南1-16-9 平野ビル3階	03-5913-7079
(一社)KEC関西電子工業振興センター	京都府相楽郡精華町光台3丁目2番地2	0774-93-4563
(公社)日本食品科学工学会	茨城県つくば市観音台2-1-12 農研機構 食品研究部門内	-
全国食品関係試験研究場所長会	茨城県つくば市観音台2-1-13 農研機構 食品研究部門内	-
(公社)日本ジュエリーデザイナー協会	東京都中央区八丁堀4-11-7 アライビル6F	03-3523-7344
(公社)日本インダストリアルデザイン協会	東京都港区六本木5-17-1 AXISビル4F	03-3587-6391
(公財)日本デザイン振興会	東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F	-
日本ブドウ・ワイン学会	山梨県甲府市北新1丁目13-1 山梨大学ワイン科学研究センター内	-

※) 令和8年3月31日現在、機関名での登録のみ掲載しております。

付-1 組織と業務

(令和8年4月1日現在)



付-2 職員名簿

(令和8年4月1日現在)

所 長 雨 宮 学	電子・システム技術部	デザイン技術部
管理・連携推進センター	部 長 河 野 裕	主幹研究員・部長 望 月 威 夫
センター長(兼1、2) 小 澤 哲 也	[電子応用科]	主任研究員 串 田 賢 一
研究管理幹(富) 五十嵐 哲 也	主任研究員 清 水 章 良	主任研究員 芦 澤 里 樹
研究管理幹(兼2) 恩 田 匠	主任研究員 中 村 卓	主任研究員 佐 藤 博 紀
研究管理幹 萩 原 義 人	研 究 員 富 永 裕 輝	会計年度任用職員 数 野 真 裕 美
	研 究 員 小 西 啓 史	会計年度任用職員 岡 治 美
	会計年度任用職員 和 光 順 子	
総務課		ワイン技術部
課長(事務取扱) 小 澤 哲 也	[システム開発科]	部 長 木 村 英 生
副 主 査 權 正 裕 之	主任研究員 宮 本 博 永	
主 任(兼2) 水 上 京 平	専 門 員 金 丸 勝 彦	主幹研究員 小 松 正 和
主 任 黒 岩 健 歩	専 門 員 萩 原 茂 彦	研 究 員 佐 藤 憲 亮
主 事(富) 梶 原 有 紗	研 究 員 中 込 亮	会計年度任用職員 三 科 浩 仁
会計年度任用職員 飯 田 恵 子	研 究 員 保 坂 響	会計年度任用職員 窪 田 守
会計年度任用職員 中 村 澄 香		
会計年度任用職員(富) 大 月 恵 美		
会計年度任用職員 河 崎 千代美		
	化学・燃料電池技術部	富士技術支援センター
企画連携推進部	主幹研究員・部長 勝 又 信 行	センター長 八 代 浩 二
主幹研究員・部長 阿 部 治		副センター長 山 田 和 生
	[応用化学科]	研究管理幹(兼1) 五十嵐 哲 也
[総合相談・連携推進科]	主任研究員 尾 形 正 岐	
主任研究員 長 沼 孝 多	研 究 員 宮 澤 航 平	繊維技術部
主任研究員(富)(兼1) 古 屋 雅 章	技 師 里 見 凜	部 長 宮 川 理 恵
専 門 員 岩 間 貴 司		
技 師(兼1) 名 取 幸 花		
	[燃料電池科]	[製品開発科]
[企画・情報科]	主幹研究員 三 神 武 文	主任研究員 三 井 由 香 里
主任研究員 木 島 一 広	研 究 員 古 崎 眞 也	主任研究員 鈴 木 文 晃
主任研究員 布 施 嘉 裕	研 究 員 渡 辺 洋 人	主任研究員(兼1) 古 屋 雅 章
主任研究員(富) 古 屋 雅 章	研 究 員 竹 下 裕 士	指 導 主 幹 中 村 聖 名
技 師 名 取 幸 花	会計年度任用職員 加賀爪 広	主 事(兼1) 梶 原 有 紗
会計年度任用職員 金 丸 美 穂	会計年度任用職員 塩 原 敦 一	会計年度任用職員 渡 邊 直 子
	会計年度任用職員 穴 水 弘 一	会計年度任用職員(兼1) 大 月 恵 美
	会計年度任用職員 丸 山 知 子	
甲府技術支援センター		[技術支援科]
センター長 小 澤 哲 也	機械・材料技術部	主任研究員 秋 本 梨 恵
副センター長 佐 野 正 明	部 長 西 村 通 喜	指 導 主 幹 渡 辺 誠
		会計年度任用職員 勝 俣 久 美
食品酒類・研磨宝飾技術部		会計年度任用職員 高 山 美 和
部 長 宮 川 和 博	主幹研究員 早 川 亮	
	主任研究員 米 山 陽	機械電子技術部
[食品酒類・パイオ科]	主任研究員 鈴 木 大 介	主幹研究員・部長 石 黒 輝 雄
主幹研究員 尾 形 美 貴	主任研究員 深 澤 郷 平	
主任研究員 橋 本 卓 也	主任研究員 坂 本 智 明	[機械電子科]
主任研究員 樋 口 か よ	指 導 主 幹 宮 川 和 幸	主任研究員 石 田 正 文
研 究 員 中 山 鋭 士	専 門 員 河 西 伸 一	専 門 員 吉 村 千 秋
	研 究 員 長 田 和 真	研 究 員 渡 邊 慧 輔
	研 究 員 雨 宮 敦 一	研 究 員 小宮山 裕 仁
[研磨・宝飾科]	技 師 浅 川 拓 也	
主任研究員 小 松 利 安	技 師 齊 佑 花	[素材料]
研 究 員 林 善 永	会計年度任用職員 日 原 正 登	主任研究員 寺 澤 章 裕
研 究 員 佐 藤 貴 裕		主任研究員 望 月 陽 介
会計年度任用職員 相 原 優 子		
会計年度任用職員 佐 野 照 雄		

(兼1)：所内兼務 (富)：富士技術支援センター
(兼2)：総合理工学研究機構と兼務

付-3 職員配置

(令和8年4月1日現在)

	行政職							研究職										会計 年度 任用 職員	合計	
	所 長	セン ター 長	副 セン ター 長	課 長	副 主 査	主 任	主 事	セン ター 長	副 セン ター 長	研 究 管 理 幹	主 幹 研 究 員・ 部長	部 長	主 幹 研 究 員	主 任 研 究 員	指 導 主 幹	専 門 員	研 究 員			技 術 師
山梨県産業技術センター	1																			1
管理・連携推進センター		(1) ^{1,2}								2(1) ²										2 (2)
総務課				(1) ¹	1	1(1) ²	1												4	7 (2)
企画連携推進部											1									1
総合相談・連携推進科														1(1) ¹		1		(1) ¹	2 (2)	
企画・情報科														3				1	1	5
甲府技術支援センター		1							1											2
食品酒類・研磨宝飾技術部												1								1
食品酒類・バイオ科													1	2			1			4
研磨・宝飾科														1			2		2	5
電子・システム技術部												1								1
電子応用科														2			2		1	5
システム開発科														1		2	2			5
化学・燃料電池技術部											1									1
応用化学科														1			1	1		3
燃料電池科													1				3		4	8
機械・材料技術部												1	1	4	1	1	2	2	1	13
デザイン技術部											1			3					2	6
ワイン技術部												1	1				1		2	5
富士技術支援センター			1					1		(1) ¹										2 (1)
繊維技術部												1								1
製品開発科							(1) ¹							2(1) ¹	1			1(1) ¹	4 (3)	
技術支援科														1	1				2	4
機械電子技術部											1									1
機械電子科														1		1	2			4
素材科														2						2
合計	1	1 (1) ^{1,2}	1	0 (1) ¹	1	1 (1) ²	1 (1) ¹	1	1	2 (1) ¹ (1) ²	4	5	4	24 (2) ¹	3	5	16	4 (1) ¹	20 (1) ¹	95 (10)

(括弧)¹：所内兼務

(括弧)²：総合理工学研究機構と兼職

付-4 令和8年度予算

主な事業経費

区分（人件費を除く）		予算額（千円）	備考
所運営費（主な経費） ・ 運営会議（委員謝金、旅費、その他） ・ 依頼試験関連経費（消耗品費、修繕費） ・ 外部評価会議（委員謝金、旅費）		237, 516	所の運営に要する経費
研究指導費（主な経費） ・ 研究事業関連経費 （備品、消耗品、委託費、原材料費、旅費、負担金） ・ 講習会等の開催に係る経費（講師謝金、旅費等） ・ 技術情報構築支援事業 ・ 利用促進事業		120, 057	経常研究費 技術相談、中小企業課題対応受託研究、企業訪問(技術支援) 情報提供等に要する経費
成長戦略研究費		21, 343	成長戦略研究に係る研究費
総合理工学研究機構費		1, 590	総合理工学研究機構に係る研究費
ワイン技術指導費（主な経費） ・ ワイン製造に係る経費		10, 919	ワイン技術部の運営等に要する経費
デザイン技術指導費（主な経費） ・ デザイン情報調査提供事業		1, 247	中小企業のデザイン開発力向上のためのデザイン情報の収集・提供等の事業に要する経費
職員職務発明特許出願費		1, 409	職員の職務発明等に関する特許出願、県有特許権の管理を行う経費
高度研究開発促進事業費		5, 662	県内産業の高度化を図ると同時に産業技術センターの研究開発を促進するため、特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する人材による指導を行うための経費
基盤的技術産業集積活性化推進事業費（主な経費） ・ イノベーション支援棟（甲府）管理費 ・ ものづくり人材育成研修事業		14, 977	医療機器をはじめとする機械電子産業や地場産業などの製品開発支援機能を強化することで、中小企業を後押しして高付加価値化を図り、受注拡大に繋げるための経費
外部資金	燃料電池関連産業集積・育成支援事業費 燃料電池・水電解開発加速化事業費	76, 735	水素の本格的な普及拡大及び産業競争力の強化に向け、水電解装置と燃料電池の研究・技術開発を加速化させるための事業に要する経費

2026

令和7年度年報

発行日 令和8年7月31日

発行 山梨県産業技術センター

〒400-0055
山梨県甲府市大津町2094
Tel 055-243-6111
Fax 055-243-6110

印刷 (株)少國民社

本書の著作権は山梨県産業技術センターに帰属します。本書の全部または一部を複写、複製等により利用される場合は、事前に当センターへお問い合わせください。

Copyright 2026 Yamanashi Industrial Technology Center. All Rights Reserved.